

令和7年度開設授業科目及び授業担当教員一覧（修士課程）

科目	科目群	領域	授業科目	R7年度担当教員	単位数		カンパ'ラング'コード	備考
					必修	選択		
共通	共通科目	共通	スポーツ科学リテラシー特講	各領域から2名程度	2		211A0-1100	
			スポーツ科学ナレッジ・マネジメント演習	各領域から2名程度	2		211A0-2101	
			スポーツ科学セミナー	研究科教務委員会委員長	1		211A0-3102	
			スポーツ科学英語特講Ⅰ	エルメス	1		211A0-3103	
			スポーツ科学英語特講Ⅱ	石原・国重	2		211B0-1304	
			インストラクションデザイン演習	研究科教務委員会・【ゼッターランド】	1		211A0-2305	
			キャリアデザイン演習	研究科教務委員会・【川島】	1		211A0-3306	
			ロープ特講演習・実習	研究科教務委員会・柘・金高	2~4		211C0-0307	
			ヘルスサイエンス特講	中垣内・藤井（康）・樋口・古瀬・廣津・沼尾	2		221A2-1300	
			健康教育学特講	（ ）	2		221A2-1301	西暦偶数年度開講
基礎科目	スポーツ総合科学	運動処方論特講	藤田	2		221A2-1302		
		トレーニング科学特講	高井・中本・赤澤・幾留	2		221A2-1303		
		スポーツコーチング学特講	金高・小森	2		221A1-1304		
		武道指導論特講	前阪・小澤	2		221A1-1305		
		スポーツパフォーマンス学特講	高橋・金高・竹中・藤井（雅）・山口・前田	2		221A1-1306		
		トレーニング科学特講【夜間】	高井・赤澤	2		221A2-1307		
		コーチング学特講【夜間】	永原・山下	2		221A1-1308		
		スポーツ史・運動文化論特講	中村（勇）・【山田】	2		222A3-1300	西暦奇数年度開講	
		武道論特講	前阪	2		222A1-1301		
		スポーツ法・倫理特講	森（克）	2		222A3-1302		
	生涯スポーツ学特講	北村・【大勝】	2		222A3-1303	西暦奇数年度開講		
	野外教育論特講	坂口	2		222A3-1304			
	スポーツ社会学特講	北村・日下	2		222A3-1305			
	コミュニティ・スポーツ論特講	北村・【大勝】	2		222A3-1306	西暦偶数年度開講		
	スポーツマネジメント論特講	関・隅野・榎田	2		222A3-1307			
	スポーツ史・運動文化論特講【夜間】	森（克）・【真田】・【山田】	2		222A3-1308	西暦偶数年度開講		
	生涯スポーツ学特講【夜間】	北村・【大勝】	2		222A3-1309	西暦奇数年度開講		
	スポーツ社会学特講【夜間】	北村・日下	2		222A3-1310			
	スポーツマネジメント論特講【夜間】	関・隅野・榎田	2		222A3-1311			
	スポーツ心理学特講	森（司）	2		223A1-1300			
	スポーツ医学特講	廣津・樋口	2		223A2-1301			
	スポーツ生理学特講	堀内	2		223A2-1302			
	身体科学論特講	田巻・奥谷	2		223A2-1303			
	スポーツバイオメカニクス特講	和田・前田・宮崎	2		223A2-1304			
	運動生化学・分子細胞生物学特講	吉田・【町田】	2		223A2-1305	西暦偶数年度開講		
	スポーツ栄養学特講	石澤	2		223A2-1306			
スポーツ心理学特講【夜間】	森（司）	2		223A1-1307				
体力科学特講【夜間】	田巻・奥谷	2		223A2-1308				
スポーツバイオメカニクス特講【夜間】	和田・前田・宮崎	2		223A2-1309				
スポーツ栄養学特講【夜間】	【鈴木】	2		223A2-1310	西暦奇数年度開講			
身体教育特講Ⅰ【KR】	連携大学院担当教員	2		223A2-1311				
身体教育特講Ⅱ A【KR】	【井福】・【坂本】	2		223A2-1312				
身体教育特講Ⅱ B【KR】	【塩瀬】	2		223A2-1313				
専門	スポーツ総合科学	ヘルスサイエンス特講演習（健康運動学）	中垣内・沼尾	2		224B2-2300		
		ヘルスサイエンス特講演習（スポーツ・リハビリテーション医科学）	廣津・藤井（康）・樋口	2		224B2-2301		
		ヘルスサイエンス特講演習（ヘルスサイエンス）	古瀬	2		224B2-2302		
		健康教育学特講演習	（ ）	2		224B2-2303	西暦偶数年度開講	
		運動処方論特講演習	藤田	2		224B2-2304		
		トレーニング科学特講演習（メンタルトレーニング論）	中本・幾留	2		224B2-2305		
		トレーニング科学特講演習（トレーニング科学）	高井・赤澤	2		224B2-2306		
		スポーツコーチング学特講演習（陸上競技（トラック））	永原・吉塚	2		224B1-2307		
		スポーツコーチング学特講演習（陸上競技（フィールド））	瓜田・小森	2		224B1-2308		
		スポーツコーチング学特講演習（水泳）	萬久・成田	2		224B1-2309		
		スポーツコーチング学特講演習（体操競技）	山下・中谷	2		224B1-2310		
		スポーツコーチング学特講演習（サッカー）	堀川・村川	2		224B1-2311		
		スポーツコーチング学特講演習（バスケットボール）	三浦	2		224B1-2312		
		スポーツコーチング学特講演習（テニス）	高橋・村上	2		224B1-2313		
		スポーツコーチング学特講演習（バレーボール）	濱田（幸）・坂中	2		224B1-2314		
		スポーツコーチング学特講演習（海洋スポーツ）	中村（夏）・榮楽	2		224B1-2315		
		武道指導論特講演習（剣道）	前阪・竹中	2		224B1-2316		
		武道指導論特講演習（柔道）	小澤・小崎	2		224B1-2317		
	スポーツパフォーマンス学特講演習	高橋・金高・竹中・藤井（雅）・山口・前田	2		224B1-2318			
	トレーニング科学特講演習【夜間】	高井・赤澤	2		224B2-2319			
	コーチング学特講演習【夜間】	永原・山下	2		224B1-2320			
	スポーツ史・運動文化論特講演習	中村（勇）・【山田】	2		225B3-2300	西暦奇数年度開講		
	武道論特講演習	前阪	2		225B1-2301			
	スポーツ法・倫理特講演習	森（克）	2		225B3-2302			
	生涯スポーツ学特講演習	北村・【大勝】	2		225B3-2303	西暦奇数年度開講		
	野外教育論特講演習	坂口	2		225B3-2304			
	スポーツ社会学特講演習	北村・日下	2		225B3-2305			
	コミュニティ・スポーツ論特講演習	北村・【大勝】	2		225B3-2306	西暦偶数年度開講		
	スポーツマネジメント論特講演習	関・隅野・榎田	2		225B3-2307			
	スポーツ史・運動文化論特講演習【夜間】	森（克）・【真田】・【山田】	2		225B3-2308	西暦偶数年度開講		
	生涯スポーツ学特講演習【夜間】	北村・【大勝】	2		225B3-2309	西暦奇数年度開講		
	スポーツ社会学特講演習【夜間】	北村・日下	2		225B3-2310			
	スポーツマネジメント論特講演習【夜間】	関・隅野・榎田	2		225B3-2311			
	スポーツ心理学特講演習	森（司）	2		226B3-2300			
	スポーツ医学特講演習	廣津・樋口	2		226B2-2301			
	スポーツ生理学特講演習	堀内	2		226B2-2302			
身体科学論特講演習（体力科学）	宮崎	2		226B2-2303				
身体科学論特講演習（生体ダイナミクス）	田巻	2		226B2-2304				
身体科学論特講演習（身体機能論）	奥谷	2		226B2-2305				
スポーツバイオメカニクス特講演習	和田・前田・宮崎	2		226B2-2306				
運動生化学・分子細胞生物学特講演習	吉田・【町田】	2		226B2-2307	西暦偶数年度開講			
スポーツ栄養学特講演習	石澤	2		226B2-2308				
スポーツ心理学特講演習【夜間】	森（司）	2		226B3-2309				
体力科学特講演習【夜間】	田巻・奥谷	2		226B2-2310				
スポーツバイオメカニクス特講演習【夜間】	和田・前田・宮崎	2		226B2-2311				
スポーツ栄養学特講演習【夜間】	【鈴木】	2		226B2-2312	西暦奇数年度開講			
身体教育特講演習Ⅰ【KR】	連携大学院担当教員等	2		226B2-2313				
身体教育特講演習Ⅱ A【KR】	【井福】・【坂本】	2		226B2-2314				
身体教育特講演習Ⅱ B【KR】	【塩瀬】	2		226B2-2315				
課題研究	課題研究	課題研究	課題研究		4		227C4-2100	

【注意事項】

1. 授業科目名に【夜間】と付記してある科目については、教育方法の特例として夜間（6～7限）に開講する科目
2. 授業科目名に【KR】と付記してある科目については、体育学・スポーツ科学連携大学院教育プログラムとして実施する科目
3. 非常勤講師については、担当教員名を【】で表記
4. 連携大学院における連携先教員については、担当教員名を〔〕で表記

## 共通科目

スポーツ科学リテラシー特講	1
スポーツ科学ナレッジ・マネジメント演習	2
スポーツ科学セミナー	3
スポーツ科学英語特講Ⅰ	4
スポーツ科学英語特講Ⅱ	5
インストラクションデザイン演習	6
キャリアデザイン演習	7
コープ特講演習・実習	8

## 基礎科目

### 【スポーツ総合科学】

ヘルスサイエンス特講	10
健康教育学特講	
運動処方論特講	11
トレーニング科学特講	12
スポーツコーチング学特講	13
武道指導論特講	14
スポーツパフォーマンス学特講	15
トレーニング科学特講【夜間】	16
コーチング学特講【夜間】	17

### 【スポーツ文化・社会科学】

スポーツ史・運動文化論特講	18
武道論特講	19
スポーツ法・倫理特講	20
生涯スポーツ学特講	21
野外教育論特講	22
スポーツ社会学特講	23
コミュニティ・スポーツ論特講	
スポーツマネジメント論特講	24
スポーツ史・運動文化論特講【夜間】	
生涯スポーツ学特講【夜間】	25
スポーツ社会学特講【夜間】	26
スポーツマネジメント論特講【夜間】	27

### 【スポーツ生命科学】

スポーツ心理学特講	28
スポーツ医科学特講	29
スポーツ生理学特講	30
身体科学論特講	31
スポーツバイオメカニクス特講	32
運動生化学・分子細胞生物学特講	
スポーツ栄養学特講	33
スポーツ心理学特講【夜間】	34
体力科学特講【夜間】	35
スポーツバイオメカニクス特講【夜間】	36
スポーツ栄養学特講【夜間】	37
身体教育特講Ⅰ【KR】	38
身体教育特講ⅡA【KR】	39
身体教育特講ⅡB【KR】	40

## 応用科目

### 【スポーツ総合科学】

ヘルスサイエンス特講演習（健康運動学）	41
ヘルスサイエンス特講演習 （スポーツ・リハビリテーション医科学）	42
ヘルスサイエンス特講演習 （ヘルスサイエンス）	43
健康教育学特講演習	
運動処方論特講演習	44

トレーニング科学特講演習 （メンタルトレーニング論）	45
トレーニング科学特講演習 （トレーニング科学）	46
スポーツコーチング学特講演習 （陸上競技（トラック））	47
スポーツコーチング学特講演習 （陸上競技（フィールド））	48
スポーツコーチング学特講演習（水泳）	49
スポーツコーチング学特講演習（体操競技）	50
スポーツコーチング学特講演習（サッカー）	51
スポーツコーチング学特講演習 （バスケットボール）	52
スポーツコーチング学特講演習（テニス）	53
スポーツコーチング学特講演習 （バレーボール）	54
スポーツコーチング学特講演習 （海洋スポーツ）	55
武道指導論特講演習（剣道）	56
武道指導論特講演習（柔道）	57
スポーツパフォーマンス学特講演習	58
トレーニング科学特講演習【夜間】	59
コーチング学特講演習【夜間】	60

### 【スポーツ文化・社会科学】

スポーツ史・運動文化論特講演習	61
武道論特講演習	62
スポーツ法・倫理特講演習	63
生涯スポーツ学特講演習	64
野外教育論特講演習	65
スポーツ社会学特講演習	66
コミュニティ・スポーツ論特講演習	
スポーツマネジメント論特講演習	67
スポーツ史・運動文化論特講演習【夜間】	
生涯スポーツ学特講演習【夜間】	68
スポーツ社会学特講演習【夜間】	69
スポーツマネジメント論特講演習【夜間】	70

### 【スポーツ生命科学】

スポーツ心理学特講演習	71
スポーツ医科学特講演習	72
スポーツ生理学特講演習	73
身体科学論特講演習（体力科学）	74
身体科学論特講演習（生体ダイナミクス）	75
身体科学論特講演習（身体機能論）	76
スポーツバイオメカニクス特講演習	77
運動生化学・分子細胞生物学特講演習	
スポーツ栄養学特講演習	78
スポーツ心理学特講演習【夜間】	79
体力科学特講演習【夜間】	80
スポーツバイオメカニクス特講演習【夜間】	81
スポーツ栄養学特講演習【夜間】	82
身体教育特講演習Ⅰ【KR】	83
身体教育特講演習ⅡA【KR】	84
身体教育特講演習ⅡB【KR】	85

授業科目名 (ナンバリングコード)	スポーツ科学リテラシー特講 (211A0-1100)		授業形態	講義	授業科目区分	共通科目 (共通領域)
担当教員名	研究科教務委員会・金久 博昭・中垣内 真樹・森 司朗・金高 宏文・北村 尚浩・高橋 仁大 ・森 克己・竹中 健太郎・藤田 英二・廣津 匡隆・赤澤 暢彦・日下 知明・棟田 雅也				補助担当者名	
単位数	2 単位	履修年次	-		受け入れ人数	-
授業の概要 及び達成目標	本講義は、スポーツ科学における総合科学（応用科学、実践科学等）、人文・社会科学、自然・生命科学の各研究領域について、今日までの研究動向や最先端の研究成果、さらに主な研究の考え方（研究哲学を含む）やその有効性や限界性等を各専門分野の教員が概説する。これにより、様々なスポーツ科学分野の研究を理解し、実践や研究で活用する基礎的な能力（リテラシー）の修得を目指す。					
成績評価の方法	研究領域毎に30点を配し（30点×3領域＝90点）、各領域ともレポート等により総合的に評価する。残りの10点は、授業1、2、15回目のレポート等により総合的に評価する。なお、成績評価は、レポート等の提出状況（100％）とする。					
成績評価の基準	成績評価の条件として出席は2/3以上を求める。レポート等は、その課題に対する達成度より評価する。					
テキスト、教材 参 考 書	随時提供する。					
履修条件・ 関連科目	特になし	備考(教員メッ セージ含む)				
オフィス・アワー	担当教員ごとに要予約（相談）					
授業計画						
回	担当教員名	授業内容			授業時間外の指導等 (予習、復習、レポ-ト等課題の指示)	
1	研究科教務委員会	スポーツ科学リテラシー総論			レポート1時間	
2	"	PROGテスト			レポート1時間	
3	藤田 英二	スポーツ総合科学分野におけるスポーツ科学リテラシー各論1（トレーニング科学）			レポート1時間	
4	高橋 仁大	スポーツ総合科学分野におけるスポーツ科学リテラシー各論2（スポーツパフォーマンス研究）			レポート1時間	
5	金高 宏文	スポーツ総合科学分野におけるスポーツ科学リテラシー各論3（コーチング、コッ・カン等の研究）			レポート1時間	
6	竹中 健太郎	スポーツ総合科学分野におけるスポーツ科学リテラシー各論4（競技スポーツ・武道等の各種分析に関する研究）			レポート1時間	
7	北村 尚浩	スポーツ文化・社会科学分野におけるスポーツ科学リテラシー各論1（身体スポーツ活動への社会的アプローチ）			レポート1時間	
8	森 克己	スポーツ文化・社会科学分野におけるスポーツ科学リテラシー各論2（スポーツ法学の研究手法とリテラシー）			レポート1時間	
9	日下 知明	スポーツ文化・社会科学分野におけるスポーツ科学リテラシー各論3（スポーツ政策学領域の研究アプローチ）			レポート1時間	
10	棟田 雅也	スポーツ文化・社会科学分野におけるスポーツ科学リテラシー各論4（スポーツマネジメントリテラシー）			レポート1時間	
11	赤澤 暢彦	スポーツ生命科学分野におけるスポーツ科学リテラシー各論1（運動生理学・バイオメカニクス領域の研究遂行に要するリテラシー）			レポート1時間	
12	廣津 匡隆	スポーツ生命科学分野におけるスポーツ科学リテラシー各論2（スポーツ健康科学論）			レポート1時間	
13	中垣内 真樹	スポーツ生命科学分野におけるスポーツ科学リテラシー各論3（高齢者の運動処方）			レポート1時間	
14	森 司朗	スポーツ生命科学分野におけるスポーツ科学リテラシー各論4（スポーツ行動科学論）			レポート1時間	
15	金久 博昭	学位論文作成方法				

授業科目名 (ナンバリングコード)	スポーツ科学ナレッジ・マネジメント演習 (211A0-2101)		授業形態	演習	授業科目区分	共通科目 (共通領域)
担当教員名	研究科教務委員会・金久 博昭・田巻 弘之・北村 尚浩・和田 智仁・中村 夏実・竹中 健太郎・高井 洋平・吉田 剛一郎・坂中 美郷・藤井 雅文・日下 知明・宮崎 輝光・未 定			補助担当者名		
単位数	2 単位		履修年次	-	受け入れ人数	-
授業の概要 及び達成目標	<p>本演習は、スポーツ科学における総合科学（応用科学、実践科学等）、人文・社会科学、自然・生命科学の各研究領域における学術論文作成やプレゼンテーション等に必要手法や方法について概説・演習する。</p> <p>具体的には、各領域における実験方法、調査方法並びに統計処理方法やデータベース作成法、プレゼンテーション方法等について行う。さらに、研究室における実験器具やデータの管理、研究室の運営方法（研究記録の記載方法、安全管理方法、外部資金獲得方法、知的財産の保護方法等）についても行う。</p> <p>これにより、受講生は修士論文作成のための準備と方略やマネジメント力を得ることができる。</p>					
成績評価の方法	授業時間毎に7点を配し（7点×13回＝91点）、各領域ともレポート等により総合的に評価する。残りの9点は、授業1,15回目のレポート等により総合的に評価する。なお、成績評価は、レポート等の提出状況（100%）とする。					
成績評価の基準	成績評価の条件として出席は2/3以上を求める。レポート等は、その課題に対する達成度より評価する。					
テキスト、教材 参考書	随時提供する。					
履修条件・ 関連科目	特になし		備考(教員メッ セージ含む)			
オフィス・アワー	担当教員ごとに要予約（相談）					
授業計画						
回	担当教員名	授業内容			授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)	
1	研究科教務委員会	大学院における研究室と研究組織			レポート1時間	
2	未 定	未定			レポート1時間	
3	"	未定			レポート1時間	
4	田巻 弘之	研究室管理・運営（予算、外部資金獲得、研究倫理審査、研究情報保護）			レポート1時間	
5	高井 洋平	スポーツ総合科学分野における実験方法と調査方法1（トレーニング科学領域における事例から）			レポート1時間	
6	竹中 健太郎	スポーツ総合科学分野における実験方法と調査方法2（武道領域における事例から）			レポート1時間	
7	日下 知明	スポーツ文化・社会科学分野における資料収集と調査方法1（質的調査の方法）			レポート1時間	
8	北村 尚浩	スポーツ文化・社会科学分野における資料収集と調査方法2（社会調査）			レポート1時間	
9	宮崎 輝光	スポーツ生命科学分野における実験方法と調査方法1（バイオメカニクス）			レポート1時間	
10	吉田 剛一郎	スポーツ生命科学分野における実験方法と調査方法2（健康科学）			レポート1時間	
11	和田 智仁	データ処理方法1（時系列データの扱い方）			レポート1時間	
12	"	データ処理方法2（時系列処理における微分法・積分法）			レポート1時間	
13	中村 夏実 坂中 美郷 藤井 雅文	プレゼンテーション1（実践と他者評価）			レポート1時間	
14	"	プレゼンテーション2（実践と自己評価）			レポート1時間	
15	金久 博昭	学術論文作成方法			レポート1時間	

授業科目名 (ナンバリングコード)	スポーツ科学セミナー (211A0-3102)	授業形態	講義・演習	授業科目区分	共通科目 (共通領域)
担当教員名	研究科教務委員会			補助担当者名	
単位数	1 単位	履修年次	-	受け入れ人数	-
授業の概要 及び達成目標	<p>本授業は、スポーツ科学における最先端の研究成果を幅広く理解するとともに、研究におけるプレゼンテーションスキルやコミュニケーションスキルを理解・修得することを狙っている。</p> <p>そのために、学外講師招聘等による「特別講義」への参画、「修士論文中間発表会」と「修士課程学位論文発表会」への参画やPROGテストの受験をとおして、学生自身の専門性を深化するとともに他の専門領域との関係性や相違性を鮮鋭化することを期待している。</p>				
成績評価の方法	授業時間および発表会毎に点を配し（特別講義（8点×6回）、修士論文中間発表会（25点）、修士課程学位論文発表会（25点）PROGテスト解説会（2点））レポート等により総合的に評価する。				
成績評価の基準	成績評価の条件として出席は2/3以上を求める。レポート等は、その課題に対する達成度より評価する。				
テキスト、教材 参 考 書	適宜、必要に応じて提供する。				
履修条件・ 関連科目	特になし	備考(教員メッ セージ含む)	特別講義については特に、時間割として定められている曜日・時限に開講されるものは必ず受講すること。		
オフィス・アワー					
授業計画					
回	担当教員名	授業内容		授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)	
1	研究科教務委員会	特別講義（6回）の出席をすること 修士論文中間発表会、修士課程学位論文発表会、PROGテスト解説会 ：それぞれ参加すること			
2	”	”			
3	”	”			
4	”	”			
5	”	”			
6	”	”			
7	”	”			
8	”	”			

授業科目名 (ナンバリングコード)	スポーツ科学英語特講 (211A0-3103)		授業形態	講義・演習	授業科目区分	共通科目 (共通領域)
担当教員名	エルメス デイビット			補助担当者名		
単位数	1 単位	履修年次	-		受け入れ人数	-
授業の概要 及び達成目標	<p>21世紀の「スポーツ科学」は、人文・社会科学と自然科学分野の諸科学が体系的に融合しながら、学際的な複合新領域として発展する方向にあり、その人材養成のニーズは多様化の一途を辿っている。21世紀を担う体育・スポーツのリーダーには、「スポーツ活動を通じて、全世界の人々が健康で安定な生活を享受できる社会の構築に貢献する。」ことに加えて、21世紀のボーダーレスの時代とともに時事刻々とリアルタイムで変化する世界情勢に即応するため、国際的な視野と感覚を有し、「スポーツ活動と健康・文化に関する様々な世界的課題を即座に解決する能力」が求められている。現在、国際社会の様々な舞台上で用いられている共通言語は「英語」であり、英語を通じて相互のコミュニケーションが図られている。したがって、21世紀を担うスポーツ科学のリーダーには、英語をコミュニケーション・ツールの1つとして利用して全世界の情報を収集するとともに、自らの研究成果を発信する能力が必要不可欠である。スポーツ科学英語は、21世紀の体育・スポーツのリーダーとなる人材養成を目的としたグローバル教育の一貫として実施する。</p> <p>スポーツ科学英語特講（必修科目）については、様々なスポーツ科学領域に関係する科学英語論文の特徴を理解し、論文内容の読解及び必要な表現方法を学習し、関連する学術雑誌（修士論文を含む。）のabstractを英語で執筆することが可能となる英語能力の取得を到達目標とする。</p>					
成績評価の方法	<p>学期末試験の成績(50%):再試験やレポート等(試験の変わり者)は不可能 レポート等(宿題)の提出状況(30%):再提出不可 授業への取り組み状況(20%) を総合的に評価する</p>					
成績評価の基準	上記事項を踏まえて総合的に判断・評価する。					
テキスト、教材 参考書	プリントを配布します					
履修条件・ 関連科目	特になし	備考(教員メッ セージ含む)	このクラスでは毎週グループワークを行います。 このクラスに合格するには、グループへの参加が重要です。 先生の指示に従って準備を整え、毎回の授業をしっかりと勉強してください。			
オフィス・アワー						
授業計画						
回	担当教員名	授業内容			授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)	
1	エルメス デイビット	Introduction (講義内容・進行方法の概略)			Homework: Review; Researching/Reading English abstracts	
2	"	科学英語の基礎知識 (科学論文の構成、固有の単語、等)"What is the importance of your research?"; Research question/statement; Paragraph writing			Finish Paragraph writing activity; Researching/Reading English abstracts (1時間)	
3	"	科学英語の基礎知識 (科学論文の特異的表現方法、等)"What problem does this work attempt to solve?"; Key words & Research examples			固有の単語(例文作成); Review; Researching/Reading English abstracts (1時間)	
4	"	論文執筆の修辞法(主語、時制、冠詞、等)"What methods did you use?"; Research verbs			動詞リスト: Verb worksheet; Researching/Reading English abstracts (1時間)	
5	"	論文執筆の修辞法(単数・複数、接続詞、関係代名詞、等)"What are some of your results?"; Reading for reference: 'Good news for coffee drinkers'			Review; Researching/Reading English abstracts (1時間)	
6	"	Abstract執筆の実際 ; "What are the implications of your answer?" / "How does your work add to the knowledge of the topic?" (abstractの意味、abstractに記述する内容、表現方法、等)			アウトライン(今までのMe); Review; Researching/Reading English abstracts (1時間)	
7	"	Abstract執筆の実際 (執筆したabstractの修正など) Test Preparation			Review, Researching/Reading English abstracts (1時間)	
8	"	Final Test. Writing your abstract				

授業科目名 (ナンバリングコード)	スポーツ科学英語特講 (211B0-1304)	授業形態	講義	授業科目区分	共通科目 (共通領域)
担当教員名	国重 徹・石原 豊一			補助担当者名	なし
単位数	2 単位	履修年次	1 年次	受け入れ人数	10人
授業の概要 及び達成目標	社会のグローバル化に伴い、英語でプレゼンテーションをする機会は益々増えてきた。本講義・演習は英語で考えをまとめ、それを発表するプレゼンテーション技術を育成するに留まらず、授業内外での多読・多聴等による英語力の向上を目標とする。今まで蓄積した英語をベースに、授業中のタスクをしながら、提案や説得ができる (persuasive)、あるいは効果的に情報伝達ができる (informative) 英語力を養いつつ、プレゼンテーションの技術も徐々にアップできるよう学習を進める。プレゼンテーションの作成にあたり、英語でのパラグラフ・ライティングについても学ぶ。本授業を通して、本学の教育目標やカリキュラムポリシーにおける「国内はもとより国際社会で活躍できる語学力とコミュニケーション能力」の涵養が期待される。ペアワーク、グループワーク、プレゼンテーション・発表				
成績評価の方法	ほぼ毎時間行う英語によるプレゼンテーション (70%) 授業への取り組み状況 (20%) レポート等の提出状況 (10%) を総合的に評価する。				
成績評価の基準	上記事項をふまえて、総合的に評価する。				
テキスト、教材 参考書	教材は、毎回の授業で配布します。遠隔授業の場合は、WebClassに資料を提示します。 参考図書：『使える理系英語の教科書--ライティングからプレゼン、ディスカッションまで』 (森村久美子著、2012、東京大学出版会)				
履修条件・ 関連科目	国重が行なっているオンラインによるマンツーマン英会話 にできるだけ参加していただきたい。	備考(教員メッ セージ含む)	使える英語のプレゼンテーション技術を身につけられるよう、一緒に学びましょう。		
オフィス・アワー	国重：木曜日 昼休み及び12:40～13:00 石原：月曜日 昼休み及び12:40～13:40				
授業計画					
回	担当教員名	授業内容	授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)		
1	国重 徹	授業のオリエンテーション、 Introduction, An example of informative presentation: Japan's Education System	今回の授業の復習、発表準備 (60分)		
2	"	An example of persuasive presentation: Exercise and Physical Fitness	今回の授業の復習、発表準備 (60分)		
3	"	Preparation of the first presentation of your own: My Hometown	今回の授業の復習、発表準備 (60分)		
4	"	Giving your own presentation (First round): My Hometown	今回の授業の復習、発表原稿、スライドの修正、 発表準備 (120分)		
5	"	Giving your own presentation (Second round): My Hometown Guidelines for the second presentation of your own: My research	今回の授業の復習、次回のプレゼンの発表準備 (120分)		
6	"	In-class preparation of the second presentation of your own: My research	今回の授業の復習、発表原稿作成 & 修正、読みの 練習を中心とした発表準備 (120分)		
7	"	Giving your own presentation (First round): My Research Review	今回の授業の復習、発表原稿やパワポの修正、 発表や読みの練習 (60分)		
8	"	Giving your own presentation (Second round): My Research Review	今回の授業の復習、まとめ (60分)		
9	石原 豊一	後半の進め方と評価、次回テーマのブレイン・ストーミング Informative presentation: The History of ~のピア・レビュー、修正。	次回の発表準備原稿作成等(90分)		
10	"	The History of ~のプレゼンテーション	プレゼンテーションの結果を踏まえての発表原稿 のfinal draft作成(90分)		
11	"	テーマYour Sports Experience についてのブレイン・ストーミング	次回発表原稿のdraft作成、発表準備：原稿作成等 (120分)		
12	"	Your Sports Experience についての発表。 Problem and Solution(問題と解決) によるpersuasive presentationについてブレイン・ストーミング	課題発表原稿のfinal draft作成 (120分)		
13	"	最終発表の準備：過去2回分の発表をまとめて自身のスポーツ体験を踏まえた上で 研究対象となるスポーツについて考える。	前回課題のfinal draft作成、比較・対照法による発表準備(120分 )		
14	"	最終発表原稿のピア・レビュー、修正	課題発表原稿の修正と最終発表資料の作成 (90 分)		
15	"	Last Presentation (Informative or Persuasive) 本授業のまとめ	最終発表原稿の修正と提出 (90分)		

授業科目名 (ナンバリングコード)	インストラクションデザイン演習 (211A0-2305)	授業形態	講義	授業科目区分	共通科目 (共通領域)
担当教員名	研究科教務委員会・ヨーコ ゼッターランド			補助担当者名	
単位数	1 単位	履修年次	-	受け入れ人数	-
授業の概要 及び達成目標	本演習はスポーツ界における様々なジャンルについて取り上げ、問題点や改善点について概説・演習する。主に日本とアメリカの大学スポーツ、指導者養成問題、メディアとスポーツ等を扱う。各トピックについてのディスカッション、また「メディアとスポーツ」ではアスリートのメディア対応法として「メディア・トレーニング」を学び、プレゼンテーションの実戦を行う。				
成績評価の方法	学期末試験の成績(%) 授業への取り組み状況(30%) レポート等の提出状況(70%) を総合的に評価する。				
成績評価の基準	授業の取り組み状況は授業での質疑応答の回数やその明晰度やレポート等は、その課題に対する説明度より評価する。				
テキスト、教材 参考書	随時提供する。				
履修条件・ 関連科目	特になし。	備考(教員メッ セージ含む)	特になし。		
オフィス・アワー					
授業計画					
回	担当教員名	授業内容		授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)	
1	ヨーコ ゼッターランド	ガイダンス 日本のスポーツを取り巻く環境～現状と課題～ ～アメリカスポーツ界との比較をまじえて～			
2	"	スポーツ指導者養成の重要性 ～プレイヤーとアントラージュ～			
3	"	スポーツ指導における「プレイヤーズセントード」			
4	"	ダイバーシティ&インクルージョン ～2020東京五輪を契機として～			
5	"	女性とスポーツ～これまでとこれから～			
6	"	スポーツ界に見る「ジェンダー問題」 ～「ジェンダー平等」を考える			
7	"	スポーツと社会貢献 ～スポーツを通じて社会問題を解決する～			
8	"	メディア・トレーニング～講義と実践～			

授業科目名 (ナンバリングコード)	キャリアデザイン演習 (211A0-3306)	授業形態	講義・演習	授業科目区分	共通科目 (共通領域)
担当教員名	研究科教務委員会・川島 克介			補助担当者名	
単位数	1 単位	履修年次	-	受け入れ人数	-
授業の概要 及び達成目標	本授業では、ビジネスキャリアをスタートする前段階で、目指すべき将来像を漠然としたものから、「自分はどんな職業人を目指そうとしているのか」へと具体化する。 また、その将来像には何が必要で、在学中に準備していくことがあることを明らかにする。				
成績評価の方法	学期末試験の成績(%) 出席状況(%) 授業への取り組み状況(70%) レポート等の提出状況(30%) を総合的に評価する。				
成績評価の基準	ディスカッションや教員への質問などの積極性を重視する。 また、レポートによる授業の学習の理解度も評価するものとする。				
テキスト、教材 参考書	適宜、授業で紹介する。				
履修条件・ 関連科目	集中講義2日間の参加	備考(教員メッ セージ含む)	演習を中心とした参加型の授業です。社会人向けの実際の 研修内容をベースにした内容を提供します。		
オフィス・アワー					
授業計画					
回	担当教員名	授業内容	授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)		
1	川島 克介	オリエンテーション、教員自己紹介 キャリアとは、キャリア理論の紹介	参考書籍の予習(3時間)		
2	"	自分のこれまでの軌跡を分析する			
3	"	将来像を明らかにする			
4	"	仕事に関する価値観を言語化する			
5	"	社会人に必要な能力を考える	参考資料の予習(2時間)		
6	"	職場におけるコミュニケーションとは			
7	"	職場を取り巻く環境変化			
8	"	2日間の振り返りとレポート「自らのキャリアデザイン」作成	自らのキャリアデザインについての情報収集作業 (3時間)		

授業科目名 (ナンバリングコード)	コープ特講演習・実習(フィールドワーク型:30時間) (211C0-0307)	授業形態	演習・実習	授業科目区分	共通科目 (共通領域)
担当教員名	梶 ちか子・研究科教務委員会			補助担当者名	
単位数	2 単位	履修年次	-	受け入れ人数	2-3
授業の概要 及び達成目標	<p>今日、小学校における体育科教育では、教師の「実践的指導力」の向上が求められている。また、文部科学省は、小学校高学年において「教科担任制」の導入を進めており、「体育」も対象教科となっている。</p> <p>本授業では、大学内で行う演習等で身につけた知識や指導スキルを活用し、大学外で実際に小学校の体育授業の指導補助や授業支援を行う。学校現場での複数回の指導補助や授業支援の実習を通して、小学校における教員のニーズに対応した、体育科教育における学習支援(コーディネイト)を行えることを目標としている。</p> <p>本演習・実習は、事前・事後学修と大学外の集中的な実習先(原則、鹿屋市内の小学校)での活動が中心になる。</p> <p>【授業に含まれる活動】 ・・実施あり、x・・・実施なし、・・・授業の進捗状況等、場合によっては実施あり グループワーク( )、ディスカッション・討論( )、プレゼンテーション・発表( )、 フィールドワーク( )</p>				
成績評価の方法	学期末試験の成績(%) 授業(演習・実習)への取り組み状況(60%) レポート等の提出状況(40%) を総合的に評価する。				
成績評価の基準	授業・打ち合わせへの積極的な取り組み、レポート、実習(模擬授業)の内容により総合的に判断する。				
テキスト、教材 参考書	適宜、提示する。				
履修条件・ 関連科目	中学校の保健体育科の教員免許状を有していること	備考(教員メッ セージ含む)	フィールドワーク型の演習・実習を実施する受入先は、原則、鹿屋市内の小学校とする。		
オフィス・アワー	随時：研究棟7階，703教員室				
授業計画					
回	担当教員名	授業内容		授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)	
1	梶 ちか子	オリエンテーション コープ実習の目的・意義・内容		授業の復習(30分)	
2	"	事前学修(理論学習，模擬授業，教材開発等)		事前学修の準備と復習(60分)	
3	"	事前学修(理論学習，模擬授業，教材開発等)		事前学修の準備と復習(60分)	
4	"	事前学修(理論学習，模擬授業，教材開発等)		事前学修の準備と復習(60分)	
5	"	事前学修(理論学習，模擬授業，教材開発等)		事前学修の準備と復習(60分)	
6	"	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校体育授業担当教員とのグループディスカッション</li> <li>・共同での単元計画・指導案作成</li> <li>・授業(補助)</li> <li>・授業の省察</li> </ul> 演習・実習の期間 <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習30コマ(30時間：積み上げ)</li> <li>・実習60コマ(60時間：積み上げ)</li> </ul>		実習の準備と整理(120分)	
7	"	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校体育授業担当教員とのグループディスカッション</li> <li>・共同での単元計画・指導案作成</li> <li>・授業(補助)</li> <li>・授業の省察</li> </ul>		実習の準備と整理(120分)	
8	"	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校体育授業担当教員とのグループディスカッション</li> <li>・共同での単元計画・指導案作成</li> <li>・授業(補助)</li> <li>・授業の省察</li> </ul>		実習の準備と整理(120分)	
9	"	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校体育授業担当教員とのグループディスカッション</li> <li>・共同での単元計画・指導案作成</li> <li>・授業(補助)</li> <li>・授業の省察</li> </ul>		実習の準備と整理(120分)	
10	"	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校体育授業担当教員とのグループディスカッション</li> <li>・共同での単元計画・指導案作成</li> <li>・授業(補助)</li> <li>・授業の省察</li> </ul>		実習の準備と整理(120分)	
11	"	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校体育授業担当教員とのグループディスカッション</li> <li>・共同での単元計画・指導案作成</li> <li>・授業(補助)</li> <li>・授業の省察</li> </ul>		実習の準備と整理(120分)	
12	"	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校体育授業担当教員とのグループディスカッション</li> <li>・共同での単元計画・指導案作成</li> <li>・授業(補助)</li> <li>・授業の省察</li> </ul>		実習の準備と整理(120分)	
13	"	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校体育授業担当教員とのグループディスカッション</li> <li>・共同での単元計画・指導案作成</li> <li>・授業(補助)</li> <li>・授業の省察</li> </ul>		実習の準備と整理(120分)	
14	"	小学校体育授業補助体験の実践発表		発表の準備(60分)	
15	"	小学校体育授業補助体験の実践発表		発表の振り返り(60分)	
16	"	全体省察			

授業科目名 (ナンバリングコード)	コープ特講演習・実習 (インターンシップ型: 60時間) (211C0-0307)	授業形態	演習・実習	授業科目区分	共通科目 (共通領域)
担当教員名	金高 宏文・研究科教務委員会			補助担当者名	
単位数	2 単位	履修年次	-	受け入れ人数	2-3
授業の概要 及び達成目標	<p>本演習・実習は、修士課程の学生を対象とし、「国民のニーズに応じた適切なスポーツ指導指導やプログラム開発及びマネジメント、トップアスリートに対する科学的なトレーニング指導やメニュー開発ができる能力を備えた高度専門職業人として中核的な役割を担う人材を養成する」ために、大学内で身につけた知識や指導・研究スキルを活用し、大学外で実際に指導、研究、実務の実習を行うものである。産業界（研究機構を含む）と連携するものは「インターンシップ型」の実習では、大学外で実際に研究・開発機関等で研究・開発補助や研究・開発支援を行う。研究・開発機関での研究・開発補助や研究・開発支援の実習を通して、研究・開発機関等のニーズに対応した、研究・開発等を行えることを目標とする。</p> <p>本演習・実習は、事前・事後学修と大学外の集中的な実習先での活動が中心になる。修得できる単位は最大4単位とし、その場合の実習は90時間以上とする。</p>				
成績評価の方法	学期末試験の成績（％） 授業（演習・実習）への取り組み状況（60％） レポート等の提出状況（40％）を総合的に評価する。				
成績評価の基準	・事前学習、大学と実習先との往還で行う演習活動、実習活動、事後活動を総合的に判断して評価する。 ・実習先での実習者の資質・能力も評価も加える。				
テキスト、教材 参考書	適宜、提示する。				
履修条件・ 関連科目	インターンシップ型の演習・実習する研究・開発機関等で 求められる資質・能力の要件があると研究指導教員が認める 学生であること。	備考(教員メッ セージ含む)	インターンシップ型の演習・実習する受入先は、原則、国内の研究・開発機関等とする。		
オフィス・アワー					
授業計画					
回	担当教員名	授業内容	授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)		
1	研究科教務委員会	オリエンテーション コープ実習の目的・意義・内容	授業の復習と演習・実習計画等の立案(60分)		
2	"	インターンシップ型の実習先の事前学修 (研究計画の立案も含む等)	事前学修の準備と復習(60分)		
3	"	インターンシップ型の実習先の事前学修 (研究計画の立案も含む等)	事前学修の準備と復習(60分)		
4	"	インターンシップ型の実習先の事前学修 (研究計画の立案も含む等)	事前学修の準備と復習(60分)		
5	"	インターンシップ型の実習先の事前学修 (研究計画の立案も含む等)	事前学修の準備と復習(60分)		
6	"	・インターンシップ型の実習先でのグループディスカッション・ミーティングへの参加 ・インターンシップ型実習先での研究・開発活動 ・インターンシップ型実習先での視察研修 演習・実習の期間 ・2単位の場合は、実習60コマ（60時間：2週間） ・4単位の場合は、実習90コマ（90時間：3週間）	・日々の実習のタイムスケジュール管理等（30分） ・日々の実習の振り返り（30分）		
7	"	・インターンシップ型の実習先でのグループディスカッション・ミーティングへの参加 ・インターンシップ型実習先での研究・開発活動 ・インターンシップ型実習先での視察研修	・日々の実習のタイムスケジュール管理等（30分） ・日々の実習の振り返り（30分）		
8	"	・インターンシップ型の実習先でのグループディスカッション・ミーティングへの参加 ・インターンシップ型実習先での研究・開発活動 ・インターンシップ型実習先での視察研修	・日々の実習のタイムスケジュール管理等（30分） ・日々の実習の振り返り（30分）		
9	"	・インターンシップ型の実習先でのグループディスカッション・ミーティングへの参加 ・インターンシップ型実習先での研究・開発活動 ・インターンシップ型実習先での視察研修	・日々の実習のタイムスケジュール管理等（30分） ・日々の実習の振り返り（30分）		
10	"	・インターンシップ型の実習先でのグループディスカッション・ミーティングへの参加 ・インターンシップ型実習先での研究・開発活動 ・インターンシップ型実習先での視察研修	・日々の実習のタイムスケジュール管理等（30分） ・日々の実習の振り返り（30分）		
11	"	・インターンシップ型の実習先でのグループディスカッション・ミーティングへの参加 ・インターンシップ型実習先での研究・開発活動 ・インターンシップ型実習先での視察研修	・日々の実習のタイムスケジュール管理等（30分） ・日々の実習の振り返り（30分）		
12	"	・インターンシップ型の実習先でのグループディスカッション・ミーティングへの参加 ・インターンシップ型実習先での研究・開発活動 ・インターンシップ型実習先での視察研修	・日々の実習のタイムスケジュール管理等（30分） ・日々の実習の振り返り（30分）		
13	"	・インターンシップ型の実習先でのグループディスカッション・ミーティングへの参加 ・インターンシップ型実習先での研究・開発活動 ・インターンシップ型実習先での視察研修	・日々の実習のタイムスケジュール管理等（30分） ・日々の実習の振り返り（30分）		
14	"	インターンシップ型の実習の取組発表	発表の準備(60-120分)		
15	"	インターンシップ型の実習の取組の振り返り 総括	発表の振り返り(60分)		

授業科目名 (ナンバリングコード)	ヘルスサイエンス特講 (221A2-1300)	授業形態	講義	授業科目区分	基礎科目 (スポーツ総合科学)
担当教員名	中垣内 真樹・藤井 康成・沼尾 成晴・樋口 公嗣・廣津 匡隆・古瀬 裕次郎			補助担当者名	
単位数	2 単位	履修年次	-	受け入れ人数	-
授業の概要 及び達成目標	運動が健康づくりの一助になるという考え方が支持され、中高齢者においても運動の効用が期待されている。しかし、加齢とともに体力が低下することは明らかであり、効果に個人差が大きいことも知られている。本講義では、中高齢者に対して運動による健康づくり、自立維持の視点から先行研究を総括するとともに至適な運動方法についてその具体的なあり方を考究する。運動による健康づくりに関わる要因について分析できるようになる。また、運動の有用性や限界に対する理解と高齢者を含む長いスパンの中での健康管理のあり方を考えることができるようになる。				
成績評価の方法	学期末試験の成績(%) 授業への取り組み状況(50%) レポート等の提出状況(50%)を総合的に評価する。				
成績評価の基準	学習内容のプレゼンテーションとディスカッションを重視する。				
テキスト、教材 参 考 書	必要に応じて配布する、もしくは指示する。 参考書：「健康華齢のためのスマートライフ」(公益財団法人日本スポーツ協会監修、(株)サンライフ企画、2019年、3080円)				
履修条件・ 関連科目	特になし	備考(教員メッ セージ含む)			
オフィス・アワー	随時 中垣内 研究棟407研究室 沼尾 研究棟406研究室 藤井 保健管理センター 廣津 研究棟304研究室 樋口 保健管理センター 古瀬 研究棟606研究室				
授業計画					
回	担当教員名	授業内容		授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)	
1	中垣内 真樹 沼尾 成晴	日本の健康づくり施策、介護予防施策の現状について		文献の予習・復習(1時間)	
2	"	減量に関する運動の効果について		文献の予習・復習(1時間)	
3	"	生活習慣病予防に関する運動の効果について		文献の予習・復習(1時間)	
4	"	中高齢者の身体機能に関する運動の効果について		文献の予習・復習(1時間)	
5	"	中高齢者の認知機能に関する運動の効果について		文献の予習・復習(1時間)	
6	藤井 康成 樋口 公嗣 廣津 匡隆	スポーツ・リハビリテーション医学における内科・整形外科的疾患の予防・運動療法		内科・整形外科的疾患の予防・運動療法の予習、復習(1時間)	
7	"	女性・小児・中高年者に対する運動処方法		女性・小児・中高年者に対する運動処方法の予習、復習(1時間)	
8	"	腰痛・関節疾患・骨粗鬆症例に対する運動処方法		腰痛・関節疾患・骨粗鬆症例に対する運動処方法の予習、復習(1時間)	
9	"	スポーツ傷害後の部位別リハビリテーション(頭部・体幹)		リハビリテーション(頭部・体幹)の予習、復習(1時間)	
10	"	スポーツ傷害後の部位別リハビリテーション(上・下肢)		リハビリテーション(上・下肢)の予習、復習(1時間)	
11	古瀬 裕次郎	疫学について		内容の予習・復習(1時間)	
12	"	疫学で使用する統計手法について		内容の予習・復習(1時間)	
13	"	ヘルスサイエンス研究の紹介と解説		紹介する資料の予習・復習(1時間)	
14	"	ヘルスサイエンス研究の紹介と解説		紹介する資料の予習・復習(1時間)	
15	"	ヘルスサイエンス研究の紹介と解説		紹介する資料の予習・復習(1時間)	

授業科目名 (ナンバリングコード)	運動処方論特講 (221A2-1302)		授業形態	講義	授業科目区分	基礎科目 (スポーツ総合科学)
担当教員名	藤田 英二				補助担当者名	
単位数	2 単位	履修年次	-		受け入れ人数	-
授業の概要 及び達成目標	肥満の解消、有酸素能力の向上、筋力・持久力・筋パワーの増強、柔軟性の改善を目的とした運動処方について、学会誌に掲載されている論文に基づき、性・年齢・目的に応じた適切な運動処方の内容について考究する。また、授業内容に応じたテーマを各自が設定し、それに関連する先行研究の内容を要旨としてまとめ発表することで、プレゼンテーションおよびディスカッションの能力の向上をめざす。					
成績評価の方法	学期末試験の成績（％） 授業への取り組み状況（40％） レポート等の提出状況（60％） を総合的に評価する。					
成績評価の基準	授業への取り組み、発表要旨・プレゼンテーションの内容とその「できばえ」、ディスカッションへの参加および質疑応答の的確さ等を総合的に評価する。					
テキスト、教材 参考書	国内外の学会誌等に掲載されている運動処方およびトレーニング科学に関連する論文					
履修条件・ 関連科目	特になし	備考(教員メッ セージ含む)	授業開催日と開催方法は履修者と相談のうえ変更することがあります。			
オフィス・アワー	随時：まずはメールで相談を（fujita@nifs-k.ac.jp）					
授業計画						
回	担当教員名	授業内容			授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)	
1	藤田 英二	オリエンテーション				
2	"	運動処方の原理・原則			配布資料を参考に予習を行う。また、授業終了後も振り返りを行い、理解できなかった点について復習を行うこと。（1時間程度）	
3	"	ウェイトコントロール			配布資料を参考に予習を行う。また、授業終了後も振り返りを行い、理解できなかった点について復習を行うこと。（1時間程度）	
4	"	ウェイトコントロール			配布資料を参考に予習を行う。また、授業終了後も振り返りを行い、理解できなかった点について復習を行うこと。（1時間程度）	
5	"	呼吸循環機能の運動処方			配布資料を参考に予習を行う。また、授業終了後も振り返りを行い、理解できなかった点について復習を行うこと。（1時間程度）	
6	"	呼吸循環機能の運動処方			配布資料を参考に予習を行う。また、授業終了後も振り返りを行い、理解できなかった点について復習を行うこと。（1時間程度）	
7	"	筋機能・運動機能の運動処方			配布資料を参考に予習を行う。また、授業終了後も振り返りを行い、理解できなかった点について復習を行うこと。（1時間程度）	
8	"	筋機能・運動機能の運動処方			配布資料を参考に予習を行う。また、授業終了後も振り返りを行い、理解できなかった点について復習を行うこと。（1時間程度）	
9	"	柔軟性の運動処方			配布資料を参考に予習を行う。また、授業終了後も振り返りを行い、理解できなかった点について復習を行うこと。（1時間程度）	
10	"	柔軟性の運動処方			配布資料を参考に予習を行う。また、授業終了後も振り返りを行い、理解できなかった点について復習を行うこと。（1時間程度）	
11	"	バランス能力の運動処方			配布資料を参考に予習を行う。また、授業終了後も振り返りを行い、理解できなかった点について復習を行うこと。（1時間程度）	
12	"	バランス能力の運動処方			配布資料を参考に予習を行う。また、授業終了後も振り返りを行い、理解できなかった点について復習を行うこと。（1時間程度）	
13	"	骨密度と運動処方			配布資料を参考に予習を行う。また、授業終了後も振り返りを行い、理解できなかった点について復習を行うこと。（1時間程度）	
14	"	骨密度と運動処方			配布資料を参考に予習を行う。また、授業終了後も振り返りを行い、理解できなかった点について復習を行うこと。（1時間程度）	
15	"	障害予防を目的とした運動処方			配布資料を参考に予習を行う。また、授業終了後も振り返りを行い、理解できなかった点について復習を行うこと。（1時間程度）	
16	"	試験は実施しない				

授業科目名 (ナンバリングコード)	トレーニング科学特講 (221A2-1303)		授業形態	講義	授業科目区分	基礎科目 (スポーツ総合科学)
担当教員名	高井 洋平・中本 浩揮・赤澤 暢彦・幾留 沙智				補助担当者名	
単位数	2 単位	履修年次	-		受け入れ人数	-
授業の概要 及び達成目標	<p>本講義は、トレーニングが身体（身体トレーニング領域）および心理（メンタルトレーニング領域）に及ぼす影響について、領域横断的に知識を習得し、トレーニングの本質および特異性を理解することを目指す。</p> <p>（身体トレーニング領域）様々なトレーニング理論や考え方を横断的に学ぶことによって、トレーニングの本質や種目の特異性を理解することを目指す。</p> <p>また、種々のトレーニング理論に関する知識を整理し、それらを合理的に統合できる能力を身に付ける。</p> <p>（メンタルトレーニング領域）スポーツ心理学の様々な領域の知見に基づいた総合的トレーニングをメンタルトレーニングとして位置づけ、発達、動機づけ、学習、知覚・認知および注意といった心理学独自のテーマから心理的トレーニング理論と方法について理解を深める。</p>					
成績評価の方法	<p>（身体トレーニング領域）授業への取り組み状況、発表の内容と討論への参加状況を総合的に評価する。</p> <p>（メンタルトレーニング領域）授業への取り組み状況、発表・レポート等の状況を総合的に評価する。</p>					
成績評価の基準	<p>（身体トレーニング領域）上記事項を踏まえて総合的に判断・評価する。</p> <p>（メンタルトレーニング領域）上記事項を踏まえて総合的に判断・評価する。</p>					
テキスト、教材 参考書	<p>（身体トレーニング領域）適宜、資料を配布する。</p> <p>（メンタルトレーニング領域）Developing Sport Expertise: research &amp; coaches put theory into practice. D. Farrow, J Baker, &amp; C. MacMahon/ Routledge. Sport Psychology: Contemporary themes. D. Lavallee et al. / Palgrave 他（必要に応じて配布するので、購入の必要はありません）</p>					
履修条件・ 関連科目	特になし	備考(教員メッ セージ含む)	（身体トレーニング科学領域）発表はパワーポイントで行うこととする。			
オフィス・アワー	<p>随時可能ですが、事前にアポイントを取るほうが確実です。</p> <p>（高井：スポーツトレーニング教育研究センター2階・教員室2、y-takai@nifs-k.ac.jp）</p> <p>（赤澤：研究棟3階・302教員研究室、akazawa@nifs-k.ac.jp）</p> <p>（中本：研究棟7階・707教員研究室、nakamoto@nifs-k.ac.jp）</p> <p>（幾留：研究棟6階・603教員研究室、ikudome@nifs-k.ac.jp）</p>					
授業計画						
回	担当教員名	授業内容			授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)	
1	高井 洋平	スポーツ・体育分野に関連するトピックを提供し、そのトピックに肯定派または反対派に分かれて討論をする			各トピックに対する情報を収集しておく（1時間）	
2	"	例）体育教師・スポーツ指導者は必要か？			関連情報の整理および授業の復習（1時間）	
3	"	例）発育期のフィジカルトレーニングは必要か？			関連情報の整理および授業の復習（1時間）	
4	"	例）データを使ったトレーニングは有効か？			関連情報の整理および授業の復習（1時間）	
5	赤澤 暢彦	トレーニングを科学する			授業の復習（1時間）	
6	"	トレーニングの基礎的研究の紹介と議論			授業の予習および復習（1時間）	
7	"	トレーニングの実践的研究の紹介と議論			授業の予習および復習（1時間）	
8	"	トレーニングの実践的研究の紹介と議論			授業の予習および復習（1時間）	
9	中本 浩揮	熟達理論とスポーツ deliberate practice theory			授業の復習（1時間）	
10	"	スポーツにおける熟達 - 感覚・知覚・認知の役割 -			授業の復習（1時間）	
11	"	スポーツにおける熟達 - 知覚トレーニングとVRの活用 -			授業の復習（1時間）	
12	"	スポーツにおける熟達 - 観察学習と自動模倣 -			授業の復習（1時間）	
13	幾留 沙智	知識の再習得と問題解決に向けた思考：やる気を高めるにはどうするか？			授業の復習（1時間）	
14	"	知識の再習得と問題解決に向けた思考：不安とどう向き合うか？			授業の復習（1時間）	
15	"	知識の再習得と問題解決に向けた思考：あがりはどう対処するか？			授業の復習（1時間）	

授業科目名 (ナンバリングコード)	スポーツコーチング学特講 (221A1-1304)		授業形態	講義	授業科目区分	基礎科目 (スポーツ総合科学)
担当教員名	金高 宏文・小森 大輔				補助担当者名	
単位数	2 単位	履修年次	1		受け入れ人数	10
授業の概要 及び達成目標	日本におけるスポーツ等のコーチの現状と課題について理解し、プレーヤーズセンタードコーチングが行える資質・能力を高める。さらに、将来にわたってコーチの資質・能力を高めることや、コーチのコーチ(コーチ・デベロッパー)としての資質・能力を高めのために、コーチング・ケーススタディの行い方を指導者等へのインタビュー、そして発表・討論等を通して身につける。  【授業に含まれる活動】 ・・実施あり、×・・・実施なし、・・・授業の進捗状況等、場合によっては実施あり グループワーク( )、ディスカッション・討論( )、プレゼンテーション・発表( )、フィールドワーク( )					
成績評価の方法	学期末試験の成績(%) 授業への取り組み状況(60%) レポート等の提出状況(40%) を総合的に評価する。					
成績評価の基準	毎回の課題の実施と討論への参画・貢献の充実度や積極性(3×15点+加点15点)、プレゼンテーション(20点)及び総括レポート(20点)の充実度が評価尺度となる。					
テキスト、教材 参考書	その都度、教員または受講者が準備する、必要とする参考資料は適時紹介、配付する。詳しい資料は「Web-Class」より授業後にダウンロードすること。 参考図書として、「コーチング学への招待(大修館書店、@2,700円)」「基礎から学ぶスポーツ運動学(大修館書店、@2,750円)」「Reference Book(JSPO、@4,000円)」「球技のコーチング学(大修館書店、@2,700円)」推薦する。					
履修条件・ 関連科目	現在または将来、スポーツ等の指導を行うことを前提としていること。	備考(教員メッセージ含む)	コーチング・ケーススタディーでは、経験豊かな指導者の「私のコーチング」について受講生達がインタビューし、まとめ、スポーツパフォーマンス研究に投稿できればと考えています。			
オフィス・アワー	金高：木曜日 15:00～16:00(大学院棟3階 教員研究室4) 小森：随時 研究棟8階 805教員研究室					
授業計画						
回	担当教員名	授業内容			授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)	
1	金高 宏文 小森 大輔	オリエンテーション、日本におけるスポーツ等のコーチ養成の現状と課題(1)			復習と予習：当該時間の授業内容に関連する資料収集と次週でのプレゼンの準備(60分)	
2	"	日本におけるスポーツ等のコーチ養成の現状と課題(2)			復習と予習：当該時間の授業内容に関連する資料収集と次週でのプレゼンの準備(60分)	
3	"	スポーツ等のコーチに求められる資質・能力(1)			復習と予習：当該時間の授業内容に関連する資料収集と次週でのプレゼンの準備(60分)	
4	"	スポーツ等のコーチに求められる資質・能力(2)			復習と予習：当該時間の授業内容に関連する資料収集と次週でのプレゼンの準備(60分)	
5	"	スポーツ等のコーチを取り巻く環境における現状と課題(1)			復習と予習：当該時間の授業内容に関連する資料収集と次週でのプレゼンの準備(60分)	
6	"	スポーツ等のコーチを取り巻く環境における現状と課題(2)			復習と予習：当該時間の授業内容に関連する資料収集と次週でのプレゼンの準備(60分)	
7	"	コーチング・ケーススタディの行い方(1)			復習と予習：当該時間の授業内容に関連する資料収集と次週でのプレゼンの準備(60分)	
8	"	コーチング・ケーススタディの行い方(2)			復習と予習：当該時間の授業内容に関連する資料収集と次週でのプレゼンの準備(60分)	
9	"	コーチング・ケーススタディ(1)インタビュー			復習と予習：当該時間の授業内容に関連する資料収集と次週でのプレゼンの準備(60分)	
10	"	コーチング・ケーススタディ(1)発表・討議			復習と予習：当該時間の授業内容に関連する資料収集と次週でのプレゼンの準備(60分)	
11	"	コーチング・ケーススタディ(2)インタビュー			復習と予習：当該時間の授業内容に関連する資料収集と次週でのプレゼンの準備(60分)	
12	"	コーチング・ケーススタディ(2)発表・討議			復習と予習：当該時間の授業内容に関連する資料収集と次週でのプレゼンの準備(60分)	
13	"	コーチング・ケーススタディ(3)インタビュー			復習と予習：当該時間の授業内容に関連する資料収集と次週でのプレゼンの準備(60分)	
14	"	コーチング・ケーススタディ(3)発表・討議			復習と予習：当該時間の授業内容に関連する資料収集と次週でのプレゼンの準備(60分)	
15	"	授業の振り返りとまとめ			総括レポートの作成(120分)	

授業科目名 (ナンバリングコード)	武道指導論特講 (221A1-1305)		授業形態	講義	授業科目区分	基礎科目 (スポーツ総合科学)
担当教員名	前阪 茂樹・小澤 雄二				補助担当者名	
単位数	2 単位	履修年次	-		受け入れ人数	-
授業の概要 及び達成目標	我が国の伝統文化として世界に発信されている武道について、歴史・人物・文化・競技等の様々な側面から俯瞰し、武道教育の中心となる柔道と剣道の分野における高度な専門知識・技術・指導の教授研究能力を養うことを目標とする。					
成績評価の方法	前阪担当分50%、小澤担当分50%で評価					
成績評価の基準	上記事項を踏まえて総合的に評価する。 授業への意欲、プレゼンテーション能力、レポート等により総合的に判断する。					
テキスト、教材 参 考 書	武道極意、鈴木禮太郎著、昭和9年刊、平凡社 その他適宜資料を配布する。					
履修条件・ 関連科目	武道の経験を有し、研究を志している者	備考(教員メッ セージ含む)	関連行事、関連学会への参加を望む。			
オフィス・アワー	随時 前阪：506研究室 小澤：502研究室					
授業計画						
回	担当教員名	授業内容			授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)	
1	前阪 茂樹 小澤 雄二	オリエンテーション				
2	小澤 雄二	柔道論			本講義の振り返りと次回への準備(約1時間)	
3	"	柔道の指導方法論			本講義の振り返りと次回への準備(約1時間)	
4	"	柔道の心理学			本講義の振り返りと次回への準備(約1時間)	
5	"	柔道の技術論			本講義の振り返りと次回への準備(約1時間)	
6	"	柔道の体カトレーニング学			本講義の振り返りと次回への準備(約1時間)	
7	"	柔道のスポーツ医学			本講義の振り返りと次回への準備(約1時間)	
8	"	柔道指導の総括 発表(第2～7講のテーマを総括して...)			本講義の振り返りと次回への準備(約1時間)	
9	前阪 茂樹	歴史/文化について 「剣道史概観」			本講義の振り返りと次回への準備(約1時間)	
10	"	思想/哲学について 「殺人刀 活人剣」			本講義の振り返りと次回への準備(約1時間)	
11	"	技術体系について 「形と竹刀剣道」			本講義の振り返りと次回への準備(約1時間)	
12	"	修行について 「生涯剣道」			本講義の振り返りと次回への準備(約1時間)	
13	"	試合について「近代スポーツとの比較」			本講義の振り返りと次回への準備(約1時間)	
14	"	指導について 「勝負論と上達論」			本講義の振り返りと次回への準備(約1時間)	
15	"	剣道指導の総括 発表(第9～14講のテーマを総括して...)				

授業科目名 (ナンバリングコード)	スポーツパフォーマンス学特講 (221A1-1306)	授業形態	講義	授業科目区分	基礎科目 (スポーツ総合科学)
担当教員名	高橋 仁大・前田 明・金高 宏文・竹中 健太郎・藤井 雅文・山口 大貴			補助担当者名	
単位数	2 単位	履修年次	-	受け入れ人数	-
授業の概要 及び達成目標	<p>スポーツパフォーマンス学とは、スポーツ現場の実践知を記述・説明・予測・操作できるようにし、実践研究論文として学術的に形式化するための方法論を学ぶ学問である。自身でも実践研究の論文の作成ができるようになるため、当該研究の発表の場である『スポーツパフォーマンス研究』に掲載された過去の論文を購読し、それを題材として実践研究とは何か、またどのように論文をまとめるべきかについて理解を深める。</p> <p>【授業に含まれる活動】 ・・実施あり、×・・・実施なし、・・・授業の進捗状況等、場合によっては実施あり グループワーク( )、ディスカッション・討論( )、プレゼンテーション・発表( )、フィールドワーク( )</p>				
成績評価の方法	学期末試験の成績(%) 授業への取り組み状況(50%) レポート等の提出状況(50%) を総合的に評価する。				
成績評価の基準	授業への積極的な参加態度および各授業者から提出された課題(5題×20点)の達成度から総合的に評価する。				
テキスト、教材 参 考 書	<p>テキスト：『体育・スポーツ分野における実践研究の考え方と論文の書き方』福永哲夫・山本正嘉編著、市村出版(2018)</p> <p>参考書：『アスリート・コーチ・トレーナーのためのトレーニング科学』山本著(市村出版、2021)、『スポーツパフォーマンス研究』(<a href="http://www.sports-performance.jp/">http://www.sports-performance.jp/</a>)にこれまでに掲載された研究論文とEditorial</p>				
履修条件・ 関連科目	特になし	備考(教員メッ セージ含む)			
オフィス・アワー	<p>随時 事前にアポイントをとること</p> <p>高橋(SPORTECスポーツパフォーマンス研究センターまたは研究棟8階809教員研究室)</p> <p>金高(大学院棟3階 4教員研究室)</p> <p>竹中(研究棟5階507教員研究室)</p> <p>藤井(研究棟8階804教員研究室)</p> <p>山口(研究棟8階803教員研究室)</p> <p>前田(明)(研究棟4階405教員研究室)</p>				
授業計画					
回	担当教員名	授業内容	授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)		
1	高橋 仁大	スポーツパフォーマンス学の考え方	講義内容の予習と復習(1時間)		
2	"	スポーツパフォーマンス研究の実例(テニス・球技)	講義内容の予習と復習(1時間)		
3	"	スポーツパフォーマンス研究の実例(コーチング)	講義内容の予習と復習(1時間)		
4	山口 大貴	スポーツパフォーマンス研究の実例(自転車競技ほか)	講義内容の予習と復習(1時間)		
5	"	スポーツパフォーマンス研究の実例(自転車競技ほか)	講義内容の予習と復習(1時間)		
6	"	スポーツパフォーマンス研究の実例(自転車競技ほか)	講義内容の予習と復習(1時間)		
7	金高 宏文	スポーツパフォーマンス研究の実例(陸上競技)	講義内容の予習と復習(1時間)		
8	"	スポーツパフォーマンス研究の実例(コツ・カンの分析)	授業の振り返りと発表資料の作成(1時間)		
9	"	スポーツパフォーマンス研究の実例(その他)	授業の振り返りと発表資料の作成(2時間)		
10	竹中 健太郎	スポーツパフォーマンス研究の実例(剣道)	授業の振り返りとレポートの作成(1時間)		
11	"	スポーツパフォーマンス研究の実例(武道)	講義内容の予習と復習(1時間)		
12	"	スポーツパフォーマンス研究の実例(その他)	講義内容の予習と復習(1時間)		
13	藤井 雅文	スポーツパフォーマンス研究の実例(野球ほか)	講義内容の予習と復習(1時間)		
14	"	スポーツパフォーマンス研究の実例(野球ほか)	講義内容の予習と復習(1時間)		
15	"	スポーツパフォーマンス研究の実例(その他・まとめ)	講義内容の予習と復習(1時間)		

授業科目名 (ナンバリングコード)	トレーニング科学特講【夜間】 (221A2-1307)		授業形態	講義	授業科目区分	基礎科目 (スポーツ総合科学)
担当教員名	高井 洋平・赤澤 暢彦			補助担当者名		
単位数	2 単位	履修年次	-		受け入れ人数	-
授業の概要 及び達成目標	身体組成、呼吸循環機能、筋力・持久力・筋パワー、柔軟性の改善を目的としたトレーニングの方法と効果ついて、学会誌に掲載されている論文をトピックスとして扱い、性・年齢・目的に応じた適切なトレーニングの内容について考究する。また、授業内容に応じたテーマを各自が設定し、それに関連する先行研究の内容を要旨としてまとめ発表することで、プレゼンテーションおよびディスカッションの能力の向上をめざす。					
成績評価の方法	学期末試験の成績（％） 授業への取り組み状況（50％） レポート等の提出状況（50％）を総合的に評価する。					
成績評価の基準	授業への取り組み、発表要旨・プレゼンテーションの内容とその「できばえ」、ディスカッションへの参加および質疑応答の的確さを総合的に評価する。					
テキスト、教材 参考書	国内外の学会誌等に掲載されているトレーニング科学に関連する論文。 その他、必要に応じて資料を適宜配布する。					
履修条件・ 関連科目	特になし	備考(教員メッセージ含む)				
オフィス・アワー	随時可能ですが、事前にアポイントを取るほうが確実です。 (高井：スポーツトレーニング教育研究センター2階・教員室2、y-takai@nifs-k.ac.jp) (赤澤：研究棟3階・302教員研究室、akazawa@nifs-k.ac.jp)					
授業計画						
回	担当教員名	授業内容			授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)	
1	高井 洋平 赤澤 暢彦	オリエンテーション			資料等の復習および予習（1時間）	
2	"	トレーニングの原理・原則			資料等の復習および予習（1時間）	
3	"	身体組成のトレーニング			資料等の復習および予習（1時間）	
4	"	身体組成のトレーニング			資料等の復習および予習（1時間）	
5	"	呼吸循環機能のトレーニング			資料等の復習および予習（1時間）	
6	"	呼吸循環機能のトレーニング			資料等の復習および予習（1時間）	
7	"	筋力・筋持久力・筋パワーのトレーニング			資料等の復習および予習（1時間）	
8	"	筋力・筋持久力・筋パワーのトレーニング			資料等の復習および予習（1時間）	
9	"	柔軟性のトレーニング			資料等の復習および予習（1時間）	
10	"	柔軟性のトレーニング			資料等の復習および予習（1時間）	
11	"	複合トレーニング			資料等の復習および予習（1時間）	
12	"	複合トレーニング			資料等の復習および予習（1時間）	
13	"	プレゼンテーション&ディスカッション			資料等の復習および予習（1時間）	
14	"	プレゼンテーション&ディスカッション			資料等の復習および予習（1時間）	
15	"	プレゼンテーション&ディスカッション			資料等の復習および予習（1時間）	
16	"	試験は実施しない				

授業科目名 (ナンバリングコード)	コーチング学特講【夜間】 (221A1-1308)	授業形態	講義	授業科目区分	基礎科目 (スポーツ総合科学)
担当教員名	永原 隆・山下 龍一郎			補助担当者名	
単位数	2 単位	履修年次	-	受け入れ人数	-
授業の概要 及び達成目標	コーチングの概念について理解し、コーチングに必要な知識や理論を身に付ける。また、自身や他者の経験と授業で学んだ知識や理論を関連付け、議論することを通してコーチングの実践を振り返り、理解を深めるとともにコーチング実践能力の向上を図る。				
成績評価の方法	学期末試験の成績(%) 授業への取り組み状況(60%) レポート等の提出状況(40%) を総合的に評価する。				
成績評価の基準	自らが積極的に目標を作り、自らが考えること、課題を理論的にまとめることを基準にする。その充実度や積極性が評価尺度となる。				
テキスト、教材 参 考 書	その都度、教員または受講生が準備する。必要とする参考資料は随時紹介、配布する。詳しい資料は「WebClass」より授業後にダウンロードすること。 参考図書として「Reference Book(日本印刷株式会社、@4,000円)」				
履修条件・ 関連科目	特になし	備考(教員メッ セージ含む)	指導者に相応しい幅広い知識の習得を心掛けること。		
オフィス・アワー	随時可能ですが、事前にアポイントを取るほうが確実です。 永原：随時 大学院棟3階 教員室1 山下：随時 研究棟 8F 801教員研究室				
授業計画					
回	担当教員名	授業内容	授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)		
1	永原 隆 山下 龍一郎	オリエンテーション			
2	"	コーチングとは	予習(授業内容に関する自身の意見をまとめる・30分)		
3	"	コーチの役割と求められる知識およびスキル	予習(授業内容に関する自身の意見をまとめる・30分)		
4	"	コーチングにおける対他者力と対自己力	予習(授業内容に関する自身の意見をまとめる・30分)		
5	"	スポーツの意義と価値	予習(授業内容に関する自身の意見をまとめる・30分)		
6	"	コーチや選手をとりまく環境と問題	予習(授業内容に関する自身の意見をまとめる・30分)		
7	"	スポーツ指導者の法的責任とスポーツ倫理	予習(授業内容に関する自身の意見をまとめる・30分)		
8	"	スポーツトレーニングの基本的な考え方と理論体系	予習(授業内容に関する自身の意見をまとめる・30分)		
9	"	各種トレーニング	予習(授業内容に関する自身の意見をまとめる・30分)		
10	"	スポーツと栄養	予習(授業内容に関する自身の意見をまとめる・30分)		
11	"	スポーツに関する医学的知識	予習(授業内容に関する自身の意見をまとめる・30分)		
12	"	アンチ・ドーピング	予習(授業内容に関する自身の意見をまとめる・30分)		
13	"	コーチング環境の特徴	予習(授業内容に関する自身の意見をまとめる・30分)		
14	"	スポーツ組織のマネージメント	授業の振り返りと総括レポートの準備(60分)		
15	"	補足とまとめ	授業の振り返りと総括レポートの作成(120分)		

授業科目名 (ナンバリングコード)	スポーツ史・運動文化論特講 (222A3-1300)		授業形態	講義	授業科目区分	基礎科目 (スポーツ文化・社会科学)
担当教員名	山田 理恵・中村 勇			補助担当者名		
単位数	2 単位	履修年次	-	受け入れ人数	-	
授業の概要 及び達成目標	本講義では、スポーツ史研究の方法を修得するとともに、近接分野であるスポーツ文化人類学的研究の方法および研究成果も援用しながら、伝統スポーツをテーマにスポーツ文化の展開について考察し、現代の体育・スポーツに関する諸問題を検討する。 これにより、スポーツの歴史学的研究、運動文化論研究の理論と方法および専門的知識を身につけることができる。					
成績評価の方法	学期末試験の成績(%) 授業への取り組み状況(70%) レポート等の提出状況(30%) を総合的に評価する。					
成績評価の基準	課題の成績、授業に対する積極的な取り組み方等を総合的に評価する。					
テキスト、教材 参 考 書	参考書は適宜紹介する。また必要に応じて資料を配付する。					
履修条件・ 関連科目	「スポーツ史・運動文化論特講演習」と併せて受講することが望ましい。		備考(教員メッセージ含む)			
オフィス・アワー	山田：教務課教育企画係を通して調整する。 中村：随時(503研究室)					
授業計画						
回	担当教員名	授業内容			授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)	
1	山田 理恵	スポーツ史研究の目的と意義			参考書・資料等の予習および復習(30分以上)	
2	"	スポーツ史研究の対象			参考書・資料等の予習および復習(30分以上)	
3	"	先行研究と問題意識			参考書・資料等の予習および復習(30分以上)	
4	"	スポーツ史研究と史料			参考書・資料等の予習および復習(30分以上)	
5	"	日本体育・スポーツ史研究			参考書・資料等の予習および復習(30分以上)	
6	"	日本体育・スポーツ史研究			参考書・資料等の予習および復習(30分以上)	
7	中村 勇	日本体育・スポーツ史研究			参考書・資料等の予習および復習(30分以上)	
8	山田 理恵	外国体育・スポーツ史研究			参考書・資料等の予習および復習(30分以上)	
9	"	スポーツ文化人類学的研究法の援用			参考書・資料等の予習および復習(30分以上)	
10	"	スポーツ文化人類学的研究法の援用			参考書・資料等の予習および復習(30分以上)	
11	"	日本の伝統スポーツの展開			参考書・資料等の予習および復習(30分以上)	
12	"	日本の伝統スポーツの現代的意義と課題			参考書・資料等の予習および復習(30分以上)	
13	中村 勇	日本の伝統武道の変遷			参考書・資料等の予習および復習(30分以上)	
14	"	日本の伝統武道の国際化と課題			参考書・資料等の予習および復習(30分以上)	
15	山田 理恵	総括：体育・スポーツと現代			参考書・資料等の予習および復習、まとめ(40分以上)	
16	"	学期末試験は行わない。				

授業科目名 (ナンバリングコード)	武道論特講 (222A1-1301)	授業形態	講義	授業科目区分	基礎科目 (スポーツ文化・社会科学)
担当教員名	前阪 茂樹			補助担当者名	
単位数	2 単位	履修年次	-	受け入れ人数	-
授業の概要 及び達成目標	武道が世界に誇る日本文化として成立した過程やその発展について概観するとともに近世に記された武道伝書の内容に触れ、武道の固有性について、その構造を考究し、専門的知識を得ることを目標とする。				
成績評価の方法	授業への取り組み状況 (80%) レポート等の提出状況 (20%)				
成績評価の基準	上記事項を踏まえて総合的に判断、評価する。				
テキスト、教材 参考書	事前に読んでおく参考書、文献： 今村嘉雄 編集『日本武道大系』(同朋舎) その他適宜資料等を配布する。				
履修条件・ 関連科目	武道の経験を有する者が望ましい	備考(教員メッ セージ含む)			
オフィス・アワー	随時：506研究室				
授業計画					
回	担当教員名	授業内容	授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)		
1	前阪 茂樹	ガイダンス、授業の進め方			
2	"	日本武道史の概説(原始～古代)	本講義の振り返りと次回への準備(約1時間)		
3	"	日本武道史の概説(中世)	本講義の振り返りと次回への準備(約1時間)		
4	"	日本武道史の概説(近世)	本講義の振り返りと次回への準備(約1時間)		
5	"	日本武道史の概説(近代～現代)	次回発表資料の作成(約3時間)		
6	"	発表「武道の歴史を俯瞰する」			
7	"	武道伝書に触れる1(五輪書)	本講義の振り返りと次回への準備(約1時間)		
8	"	武道伝書に触れる1(五輪書)	本講義の振り返りと次回への準備(約1時間)		
9	"	武道伝書に触れる1(五輪書)	本講義の振り返りと次回への準備(約1時間)		
10	"	武道伝書に触れる2(不動智神妙録)	授業内容の復習と予習		
11	"	武道伝書に触れる2(不動智神妙録)	本講義の振り返りと次回への準備(約1時間)		
12	"	武道伝書に触れる2(不動智神妙録)	本講義の振り返りと次回への準備(約1時間)		
13	"	武道伝書に触れる3(兵法家伝書)	本講義の振り返りと次回への準備(約1時間)		
14	"	武道伝書に触れる3(兵法家伝書)	本講義の振り返りと次回への準備(約1時間)		
15	"	武道伝書に触れる3(兵法家伝書)	本講義の振り返り(約30分)		

授業科目名 (ナンバリングコード)	スポーツ法・倫理特講 (222A3-1302)		授業形態	講義	授業科目区分	基礎科目 (スポーツ文化・社会科学)
担当教員名	森 克己			補助担当者名		
単位数	2 単位	履修年次	1年次		受け入れ人数	5名程度
授業の概要 及び達成目標	スポーツ法学及びスポーツ倫理に関する研究の意義と課題を概観するとともに、スポーツ法学及びスポーツ倫理に関する国内外の重要文献・資料を購読することにより、スポーツ選手の人権問題などスポーツの分野における法学及びスポーツ倫理に関する研究の重要課題についての知識・考え方を修得する。					
成績評価の方法	学期末試験の成績(%) 授業への取り組み状況(20%) レポート等の提出状況(80%) を総合的に評価する。					
成績評価の基準	毎回の授業時に課されるレポートへの取り組み状況、授業への取組状況を総合的に評価する。					
テキスト、教材 参考書	テキスト：森克己ほか著『標準テキスト・スポーツ法学』（エイデル研究所） 参考書：小笠原正・諏訪伸夫監修、森克己ほか著『スポーツのリスクマネジメント』（ぎょうせい）『憲法と教育人権』（日本評論社）、『スポーツ法学入門』（体育施設出版）					
履修条件・ 関連科目	特になし		備考(教員メッセージ含む)			
オフィス・アワー	随時(508研究室)					
授業計画						
回	担当教員名	授業内容			授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)	
1	森 克己	オリエンテーション：学習の目的、内容、方法、評価のしかた			履修要項の予習(30分以上)	
2	"	スポーツ法学及びスポーツの倫理に関する研究の意義(総論)			テキスト・参考書の予習・復習(30分以上)	
3	"	スポーツ法学の体系・法源			参考書・資料等の予習・復習(30分以上)	
4	"	スポーツ法学の体系・法源			参考書・資料等の予習・復習(30分以上)	
5	"	スポーツ基本法の概要			参考書・資料等の予習・復習(30分以上)	
6	"	スポーツの権利性			参考書・資料等の予習・復習(30分以上)	
7	"	スポーツ団体と競技者の法的諸問題(総論)			参考書・資料等の予習・復習(30分以上)	
8	"	スポーツ選手の人権問題とスポーツ仲裁制度			参考書・資料等の予習・復習(30分以上)	
9	"	スポーツにおけるチャイルド・プロテクション			参考書・資料等の予習・復習(30分以上)	
10	"	スポーツにおけるチャイルド・プロテクション			参考書・資料等の予習・復習(30分以上)	
11	"	スポーツにおけるアスリート保護の国際的取組の現状と課題			参考書・資料等の予習・復習(30分以上)	
12	"	スポーツにおけるアスリート保護の国際的取組の現状と課題			資料等の予習・復習(30分以上)	
13	"	ドーピング問題の現状と課題			資料等の予習・復習(30分以上)	
14	"	スポーツ選手の肖像権・パブリシティ権保障の現状と課題			資料等の予習・復習(30分以上)	
15	"	スポーツ選手の肖像権・パブリシティ権保障の現状と課題			資料等の予習・復習(30分以上)	

授業科目名 (ナンバリングコード)	生涯スポーツ学特講 (222A3-1303)	授業形態	講義	授業科目区分	基礎科目 (スポーツ文化・社会科学)
担当教員名	北村 尚浩・大勝 志津穂			補助担当者名	
単位数	2 単位	履修年次	1	受け入れ人数	5
授業の概要 及び達成目標	生涯スポーツについてその概念、研究内容、現状分析、国際的動向及び研究課題を総合的に考究する。具体的には、生涯スポーツに関することについての講義、文献検索（英語も含む）、研究講義を行い、今後の生涯スポーツや健康づくり政策の在り方についての基本的な知識を学ぶ。				
成績評価の方法	学期末試験の成績（％） 授業への取り組み状況（40％） レポート等の提出状況（60％）を総合的に評価する。				
成績評価の基準	レポート提出及び授業への取り組みを重視する。				
テキスト、教材 参考書	授業配布の各種資料				
履修条件・ 関連科目	特になし	備考(教員メッ セージ含む)			
オフィス・アワー	北村：研究棟6階 610研究室（予約制）				
授業計画					
回	担当教員名	授業内容	授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)		
1	北村 尚浩	生涯スポーツの基本概念	シラバスによる予習（1時間）講義内容の復習（1時間）		
2	"	生涯スポーツ政策と生涯スポーツムーブメント	課題による準備（1時間）講義内容の復習（1時間）		
3	"	諸外国の生涯スポーツ政策	課題による準備（1時間）講義内容の復習（1時間）		
4	"	生涯スポーツ学研究の方法	課題による準備（1時間）講義内容の復習（1時間）		
5	"	生涯スポーツ学研究の方法	課題による準備（1時間）講義内容の復習（1時間）		
6	"	健康づくり政策の現状と課題（健康づくりのための運動指針2006）	課題による準備（1時間）講義内容の復習（1時間）		
7	"	ライフステージから見た生涯スポーツのあり方について	課題による準備（1時間）講義内容の復習（1時間）		
8	"	まとめ・定期レポート作成	課題による準備（1時間）講義内容の復習（1時間）		
9	大勝 志津穂	青少年と生涯スポーツ	課題による準備（1時間）講義内容の復習（1時間）		
10	"	成人とスポーツ	課題による準備（1時間）講義内容の復習（1時間）		
11	"	高齢者と生涯スポーツ	課題による準備（1時間）講義内容の復習（1時間）		
12	"	女性とスポーツ	課題による準備（1時間）講義内容の復習（1時間）		
13	"	障害者とスポーツ	課題による準備（1時間）講義内容の復習（1時間）		
14	"	総合型地域スポーツクラブ政策	課題による準備（1時間）講義内容の復習（1時間）		
15	北村 尚浩	コミュニティ・スポーツクラブのマネジメント	課題による準備（1時間）講義内容の復習（1時間）		
16	大勝 志津穂	まとめ・定期レポート作成	課題による準備（1時間）講義内容の復習（1時間）		

授業科目名 (ナンバリングコード)	野外教育論特講 (222A3-1304)	授業形態	講義	授業科目区分	基礎科目 (スポーツ文化・社会科学)
担当教員名	坂口 俊哉			補助担当者名	
単位数	2 単位	履修年次	-	受け入れ人数	-
授業の概要 及び達成目標	野外教育研究やレジャー・レクリエーション研究の分野で扱われてきた研究トピックについて紹介する。 それぞれのトピックが、野外教育の場でどのような重要性を持っているのか。 また、研究目的と研究方法はマッチしているのか。批判的な立場から、国内外のジャーナルを中心に、先行研究のレビューを行っていく。最終的には野外教育の実践例を評価する作業を行う。				
成績評価の方法	最終プレゼンテーション(20%) 授業への取組み状況(40%) レポート等の提出状況(40%) を総合的に評価する。				
成績評価の基準	授業での発表内容、配布資料の作成内容などについて総合的に評価する。				
テキスト、教材 参 考 書	必要に応じてプリントを配布する。				
履修条件・ 関連科目	特になし	備考(教員メッ セージ含む)			
オフィス・アワー	随時。事前にメールでアポイントを取ることをお勧めします。 E-mail:tsakaguc@nifs-k.ac.jp				
授業計画					
回	担当教員名	授業内容	授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)		
1	坂口 俊哉	ガイダンス	野外教育関連雑誌のタイトルを確認。リストを作成して提出。(60分)		
2	"	野外教育関連ジャーナルと論文	指定されたキーワードで検索しヒットした海外の研究論文をコピーしておくこと。アブストラクトの日本語化。(60分)		
3	"	野外教育研究に関する文献抄読	担当者発表 準備(120分)		
4	"	野外教育研究に関する文献抄読	担当者発表 準備(120分)		
5	"	野外教育研究に関する文献抄読	担当者発表 準備(120分)		
6	"	野外教育研究に関する文献抄読	担当者発表 準備(120分)		
7	"	野外教育研究に関する文献抄読	担当者発表 準備(120分)		
8	"	野外教育研究の目的と方法	野外教育の周辺領域において行われてきた先行研究の目的と方法についてまとめる(60分)		
9	"	野外教育研究の目的と方法	野外教育の周辺領域において行われてきた先行研究の目的と方法についてまとめる(60分)		
10	"	野外教育研究の目的と方法	野外教育の周辺領域において行われてきた先行研究の目的と方法についてまとめる(60分)		
11	"	野外教育の企画と実践	組織キャンプの実施例に関して情報を収集し企画内容を整理する。(60分)		
12	"	野外教育の企画と実践	組織キャンプの実施例に関して情報を収集し企画内容を整理する。(60分)		
13	"	野外教育の企画と実践	組織キャンプの実施例に関して情報を収集し企画内容を整理する。(60分)		
14	"	野外教育の企画と実践	アイスブレイク・プログラムの企画をまとめる(60分)		
15	"	野外教育の企画と実践	アイスブレイク・プログラムの評価基準をまとめる(60分)		
16	"	実践例の評価レポートとプレゼンテーション	プレゼンテーションの準備(60分)		

授業科目名 (ナンバリングコード)	スポーツ社会学特講 (222A3-1305)	授業形態	講義	授業科目区分	基礎科目 (スポーツ文化・社会科学)
担当教員名	北村 尚浩・日下 知明			補助担当者名	
単位数	2 単位	履修年次	1	受け入れ人数	5
授業の概要 及び達成目標	体育・スポーツの現状と課題について、社会的視点から考察する。スポーツと個人、社会の関係をこれまでの社会学的研究動向を概観し、その理論的立場から、批判的かつ実証的にその現象を記述、説明、分析しながら課題と展望について考究する。社会学的研究論文の国内外の研究成果と動向を習得する。				
成績評価の方法	学期末試験の成績(%) 授業への取り組み状況(40%) レポート等の提出状況(60%) を総合的に評価する。				
成績評価の基準	レポート提出及び授業への取り組みを重視する。				
テキスト、教材 参考書	池田勝、守能信次、川西正志他著 「講座スポーツの社会科学シリーズスポーツ社会学」 授業時配布の資料				
履修条件・ 関連科目	特になし	備考(教員メッ セージ含む)			
オフィス・アワー	北村：研究棟6階 610研究室(予約制) 日下：研究棟6階 607研究室(事前にメールしてください。宛先はt-kusaka@nifs-k.ac.jp)				

授業計画

回	担当教員名	授業内容	授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)
1	北村 尚浩	スポーツ社会学とは	文献抄読(1時間)
2	"	社会学的研究法 - 問題意識と理論的枠組み	文献抄読(1時間)
3	"	社会学的研究法 - ケーススタディーと社会調査	文献抄読(1時間)
4	"	スポーツへの社会化	文献抄読(1時間)
5	"	スポーツ・プレイ・ゲーム論	文献抄読(1時間)
6	"	遊びの社会文化的側面	文献抄読(1時間)
7	"	スポーツの国際比較 - 指導者資格	文献抄読(1時間)
8	"	スポーツの国際比較 - スポーツ政策	文献抄読(1時間)
9	日下 知明	スポーツとメディア	文献抄読(1時間)
10	"	スポーツと政治	文献抄読(1時間)
11	"	スポーツイベントと都市開発	文献抄読(1時間)
12	"	スポーツと教育	文献抄読(1時間)
13	"	障害者スポーツ	文献抄読(1時間)
14	"	スポーツと環境	文献抄読(1時間)
15	"	スポーツ組織	文献抄読(1時間)

授業科目名 (ナンバリングコード)	スポーツマネジメント論特講 (222A3-1307)		授業形態	講義	授業科目区分	基礎科目 (スポーツ文化・社会科学)
担当教員名	隅野 美砂輝・関 朋昭・棟田 雅也			補助担当者名		
単位数	2 単位	履修年次	-	受け入れ人数	-	
授業の概要 及び達成目標	本講義では、現代のスポーツについて、マネジメントの視点から捉えることを目的とする。さらに今後のスポーツマネジメントにおける展望を考察する。授業を通して、スポーツに関する価値や効用と実際のビジネスや産業に関する知識を理解する。					
成績評価の方法	授業への取り組み状況 (70%) レポート等の提出状況 (30%) を総合的に評価する。					
成績評価の基準	上記評価の他、授業時間内の課題発表なども入れて総合評価する。					
テキスト、教材 参考書	その都度指示する。					
履修条件・ 関連科目			備考(教員メッ セージ含む)			
オフィス・アワー	関：604教員室、 隅野：501教員室 棟田：602教員室					
授業計画						
回	担当教員名	授業内容			授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)	
1	隅野 美砂輝 関 朋昭 棟田 雅也	オリエンテーション / スポーツマネジメントとは			予習1時間 + 復習1時間	
2	隅野 美砂輝	スポーツマネジメントとスポーツマーケティング			予習1時間 + 復習1時間	
3	"	スポーツマーケティングの基礎			予習1時間 + 復習1時間	
4	"	スポーツスポンサーシップ			予習1時間 + 復習1時間	
5	"	スポーツマーケティング (環境分析)			予習1時間 + 復習1時間	
6	"	スポーツマーケティング (マーケティングミックス)			予習1時間 + 復習1時間	
7	棟田 雅也	スポーツイベントマネジメント			予習1時間 + 復習1時間	
8	"	スポーツツーリズムマネジメント			予習1時間 + 復習1時間	
9	"	スポーツマネジメントによるまちづくり			予習1時間 + 復習1時間	
10	"	スポーツファシリティマネジメント			予習1時間 + 復習1時間	
11	関 朋昭	経営学と経済学			予習1時間 + 復習1時間	
12	"	スポーツと組織理論			予習1時間 + 復習1時間	
13	"	スポーツと経営理論			予習1時間 + 復習1時間	
14	"	スポーツマネジメントと哲学 (概念と定義)			予習1時間 + 復習1時間	
15	"	スポーツマネジメントと倫理 (勝利至上主義)			予習1時間 + 復習1時間	

授業科目名 (ナンバリングコード)	生涯スポーツ学特講【夜間】 (222A3-1309)	授業形態	講義	授業科目区分	基礎科目 (スポーツ文化・社会科学)
担当教員名	北村 尚浩・大勝 志津穂			補助担当者名	
単位数	2 単位	履修年次	1	受け入れ人数	5
授業の概要 及び達成目標	生涯スポーツについてその概念、研究内容、現状分析、国際的動向及び研究課題を総合的に考究する。具体的には、生涯スポーツに関することについての講義、文献検索（英語も含む）、研究講義を行い、今後の生涯スポーツや健康づくり政策の在り方についての基本的な知識を学ぶ。				
成績評価の方法	学期末試験の成績（％） 授業への取り組み状況（40％） レポート等の提出状況（60％） を総合的に評価する。				
成績評価の基準	レポート提出及び授業への取り組みを重視する。				
テキスト、教材 参考書	授業配布の各種資料				
履修条件・ 関連科目	特になし	備考(教員メッ セージ含む)			
オフィス・アワー	北村：研究棟6階 610研究室（予約制）				
授業計画					
回	担当教員名	授業内容	授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)		
1	北村 尚浩	生涯スポーツの基本概念	シラバスによる予習（1時間）講義内容の復習（1時間）		
2	"	生涯スポーツ政策と生涯スポーツムーブメント	課題による準備（1時間）講義内容の復習（1時間）		
3	"	諸外国の生涯スポーツ政策	課題による準備（1時間）講義内容の復習（1時間）		
4	"	生涯スポーツ学研究の方法	課題による準備（1時間）講義内容の復習（1時間）		
5	"	生涯スポーツ学研究の方法	課題による準備（1時間）講義内容の復習（1時間）		
6	"	健康づくりにおける生涯スポーツの役割（縦断的研究に関する論文から）	課題による準備（1時間）講義内容の復習（1時間）		
7	"	健康づくり政策の現状と課題（健康づくりのための運動指針2006）	課題による準備（1時間）講義内容の復習（1時間）		
8	"	ライフステージから見た生涯スポーツのあり方について	課題による準備（1時間）講義内容の復習（1時間）		
9	"	スポーツ（運動）の習慣化のための行動変容技法について	課題による準備（1時間）講義内容の復習（1時間）		
10	"	スポーツ（運動）の習慣化のための教材（ツール）の開発について	課題による準備（1時間）講義内容の復習（1時間）		
11	大勝 志津穂	総合型地域スポーツクラブ政策	課題による準備（1時間）講義内容の復習（1時間）		
12	"	コミュニティ・スポーツクラブのマネジメント	課題による準備（1時間）講義内容の復習（1時間）		
13	"	女性と生涯スポーツ	課題による準備（1時間）講義内容の復習（1時間）		
14	"	高齢者と生涯スポーツ	課題による準備（1時間）講義内容の復習（1時間）		
15	"	障害者と生涯スポーツ	課題による準備（1時間）講義内容の復習（1時間）		

授業科目名 (ナンバリングコード)	スポーツ社会学特講【夜間】 (222A3-1310)	授業形態	講義	授業科目区分	基礎科目 (スポーツ文化・社会科学)
担当教員名	北村 尚浩・日下 知明			補助担当者名	
単位数	2 単位	履修年次	1	受け入れ人数	5
授業の概要 及び達成目標	体育・スポーツの現状と課題について、社会的視点から考察する。スポーツと個人、社会の関係をこれまでの社会学的研究動向を概観し、その理論的立場から、批判的かつ実証的にその現象を記述、説明、分析しながら課題と展望について考究する。社会学的研究論文の国内外の研究成果と動向を習得する。				
成績評価の方法	学期末試験の成績(%) 授業への取り組み状況(40%) レポート等の提出状況(60%) を総合的に評価する。				
成績評価の基準	レポート提出及び授業への取り組みを重視する。				
テキスト、教材 参考書	池田勝、守能信次、川西正志他著 「講座スポーツの社会科学シリーズスポーツ社会学」 授業時配布の資料				
履修条件・ 関連科目	特になし	備考(教員メッ セージ含む)			
オフィス・アワー	北村：研究棟6階 610研究室(予約制) 日下：研究棟6階 607研究室(事前にメールしてください。宛先はt-kusaka@nifs-k.ac.jp)				
授業計画					
回	担当教員名	授業内容	授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)		
1	北村 尚浩	スポーツ社会学とは	文献抄読(1時間)		
2	"	社会学的研究法 - 問題意識と理論的枠組み	文献抄読(1時間)		
3	"	社会学的研究法 - ケーススタディーと社会調査	文献抄読(1時間)		
4	"	スポーツへの社会化	文献抄読(1時間)		
5	"	スポーツ・プレイ・ゲーム論	文献抄読(1時間)		
6	"	遊びの社会文化的側面	文献抄読(1時間)		
7	"	スポーツの国際比較 - 指導者資格	文献抄読(1時間)		
8	"	スポーツの国際比較 - スポーツ政策	文献抄読(1時間)		
9	日下 知明	スポーツとメディア	文献抄読(1時間)		
10	"	スポーツと政治	文献抄読(1時間)		
11	"	スポーツイベントと都市開発	文献抄読(1時間)		
12	"	スポーツと教育	文献抄読(1時間)		
13	"	障害者スポーツ	文献抄読(1時間)		
14	"	スポーツと環境	文献抄読(1時間)		
15	"	スポーツ組織	文献抄読(1時間)		

授業科目名 (ナンバリングコード)	スポーツマネジメント論特講【夜間】 (222A3-1311)	授業形態	講義	授業科目区分	基礎科目 (スポーツ文化・社会科学)
担当教員名	関 朋昭・隅野 美砂輝・棟田 雅也			補助担当者名	
単位数	2 単位	履修年次	-	受け入れ人数	-
授業の概要 及び達成目標	本講義では、現代のスポーツについて、マネジメントの視点から捉えることを目的とする。さらに今後のスポーツマネジメントにおける展望を考察する。授業を通して、スポーツに関する価値や効用と実際のビジネスや産業に関する知識を理解する。				
成績評価の方法	授業への取り組み状況 (70%) レポート等の提出状況 (30%) を総合的に評価する。				
成績評価の基準	上記評価の他、授業時間内の課題発表なども入れて総合評価する。				
テキスト、教材 参考書	その都度指示する。				
履修条件・ 関連科目		備考(教員メッ セージ含む)			
オフィス・アワー	関：604教員室、 隅野：501教員室 棟田：602教員室				
授業計画					
回	担当教員名	授業内容	授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)		
1	関 朋昭 隅野 美砂輝 棟田 雅也	オリエンテーション / スポーツマネジメントとは	予習1時間 + 復習1時間		
2	隅野 美砂輝	スポーツマネジメントとスポーツマーケティング	予習1時間 + 復習1時間		
3	〃	スポーツスポンサーシップ	予習1時間 + 復習1時間		
4	〃	スポーツマーケティングの基礎	予習1時間 + 復習1時間		
5	〃	スポーツマーケティング (環境分析)	予習1時間 + 復習1時間		
6	〃	スポーツマーケティング (マーケティングミックス)	予習1時間 + 復習1時間		
7	棟田 雅也	スポーツイベントマネジメント	予習1時間 + 復習1時間		
8	〃	スポーツツーリズムマネジメント	予習1時間 + 復習1時間		
9	〃	スポーツマネジメントによるまちづくり	予習1時間 + 復習1時間		
10	〃	スポーツファシリティマネジメント	予習1時間 + 復習1時間		
11	関 朋昭	経営学と経済学	予習1時間 + 復習1時間		
12	〃	スポーツと組織理論	予習1時間 + 復習1時間		
13	〃	スポーツと経営理論	予習1時間 + 復習1時間		
14	〃	スポーツマネジメントと哲学 (概念と定義)	予習1時間 + 復習1時間		
15	〃	スポーツマネジメントと倫理 (勝利至上主義)	予習1時間 + 復習1時間		

授業科目名 (ナンバリングコード)	スポーツ心理学特講 (223A1-1300)		授業形態	講義	授業科目区分	基礎科目 (スポーツ生命科学)
担当教員名	森 司朗				補助担当者名	
単位数	2 単位	履修年次	-		受け入れ人数	-
授業の概要 及び達成目標	スポーツの指導者として必要な心理学的知識を獲得するために、「スポーツ参加とライフスキル」、「身体活動・運動と健康」、「運動の学習と運動制御」、「競技力向上と心理的サポート」について、包括的に検討していく。授業に関しては演習形式で行なう。 本特講の達成目標は、スポーツ心理学に関して包括的な知識を獲得することにある。					
成績評価の方法	学期末試験の成績(%) 授業への取り組み状況(20%) レポート等の提出状況(80%) を総合的に評価する。					
成績評価の基準	スポーツ心理学の各分野での基本的な考え方の理解程度に関して、プレゼンテーション及び質疑で評価する。					
テキスト、教材 参考書	最新 スポーツ心理学 - その軌跡と展望(日本スポーツ心理学会編)					
履修条件・ 関連科目	特になし	備考(教員メッ セージ含む)				
オフィス・アワー	随時：702研究室、体育心理学実験室					
授業計画						
回	担当教員名	授業内容			授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)	
1	森 司朗	オリエンテーション：心理学の研究とは				
2	"	スポーツ参加とライフスキル(1)			授業の予習と復習(1時間)	
3	"	スポーツ参加とライフスキル(2)			授業の予習と復習(1時間)	
4	"	スポーツ参加とライフスキル(3)			授業の予習と復習(1時間)	
5	"	スポーツ参加とライフスキル(4)			レポート(1時間)	
6	"	身体活動・運動と健康(1)			授業の予習と復習(1時間)	
7	"	身体活動・運動と健康(2)			授業の予習と復習(1時間)	
8	"	身体活動・運動と健康(3)			レポート(1時間)	
9	"	運動の学習と制御(1)			授業の予習と復習(1時間)	
10	"	運動の学習と制御(2)			授業の予習と復習(1時間)	
11	"	運動の学習と制御(3)			レポート(1時間)	
12	"	競技力向上と心理的サポート(1)			授業の予習と復習(1時間)	
13	"	競技力向上と心理的サポート(2)			授業の予習と復習(1時間)	
14	"	競技力向上と心理的サポート(3)			授業の予習と復習(1時間)	
15	"	競技力向上と心理的サポート(4)			レポート(1時間)	
16	"	レポート提出				

授業科目名 (ナンバリングコード)	スポーツ医学特講 (223A2-1301)		授業形態	講義	授業科目区分	基礎科目 (スポーツ生命科学)
担当教員名	樋口 公嗣・廣津 匡隆				補助担当者名	
単位数	2 単位	履修年次	-		受け入れ人数	-
授業の概要 及び達成目標	スポーツが心臓に及ぼす影響を理解するために必要な心電図, 心エコー図の基礎と応用を講義する。(対話・討論型)					
成績評価の方法	学期末試験の成績(%) 授業への取り組み状況(80%) レポート等の提出状況(20%) を総合的に評価する。					
成績評価の基準	上記を合計して判断する。					
テキスト、教材 参考書	心電図を学ぶ人のために、心電図のABC, 心エコー図のABC					
履修条件・ 関連科目	特になし		備考(教員メッ セージ含む)			
オフィス・アワー	10時~11時30分 保健管理センター					
授業計画						
回	担当教員名	授業内容			授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)	
1	樋口 公嗣 廣津 匡隆	心電図を学ぶための心臓の解剖と生理・心臓の電氣的活動 正常心電図：心電図波形の名称と意義・正常波形・正常値 心臓電気軸と臨床的意義：軸偏位の定め方			参考書・資料等の復習及び予習(1時間)	
2	"	左胸心および心房負荷：心房負荷心電図の名称と分類 心室肥大心電図：左室肥大・右室肥大・両室肥大 脚ブロック：脚ブロックの分類 右脚ブロック・左脚ブロック			参考書・資料等の復習及び予習(1時間)	
3	"	冠不全、心筋虚血の心電図：ST, T波の異常・運動負荷心電図など 心筋梗塞の特徴的心電図所見：異常Q波・ST上昇・冠性丁波			参考書・資料等の復習及び予習(1時間)	
4	"	電解質異常：カリウムと心電図・カルシウムと心電図			参考書・資料等の復習及び予習(1時間)	
5	"	不整脈：不整脈の分類・正常洞調律および洞リズムの異常 洞不全症候群および上室性期外収縮			参考書・資料等の復習及び予習(1時間)	
6	"	心室性期外収縮：成因・臨床的意義・心電図所見 発作性上室頻拍・心房細動・心房粗動・心室頻拍・心室細動			参考書・資料等の復習及び予習(1時間)	
7	"	房室ブロック：分類と心電図所見 心室早期興奮症候群：概念・心電図所見・WPW・LGL			参考書・資料等の復習及び予習(1時間)	
8	"	スポーツマンによく見られる心電図所見			参考書・資料等の復習及び予習(1時間)	
9	"	特殊心電図：ホルター心電図法・ベクトル心電図・ヒス束電位図法・ 体表電位図			参考書・資料等の復習及び予習(1時間)	
10	"	ビデオによる心電図の総復習			参考書・資料等の復習及び予習(1時間)	
11	"	心エコー図の基礎(原理・装置)Mモード法, 断層法, ドプラー法			参考書・資料等の復習及び予習(1時間)	
12	"	心機能評価; ドプラー法による心拍出量測定など			参考書・資料等の復習及び予習(1時間)	
13	"	頸動脈などの血管エコー心機能評価; ドプラー法による心拍出量測定など			参考書・資料等の復習及び予習(1時間)	
14	"	上腕動脈の内皮機能検査			参考書・資料等の復習及び予習(1時間)	
15	"	ビデオによる心エコー図の総復習			参考書・資料等の復習及び予習(1時間)	

授業科目名 (ナンバリングコード)	スポーツ生理学特講 (223A2-1302)	授業形態	講義	授業科目区分	基礎科目 (基礎・生命科学)
担当教員名	堀内 雅弘			補助担当者名	
単位数	2 単位	履修年次	-	受け入れ人数	-
授業の概要 及び達成目標	<p>身体の生理機能は、内外部からの刺激に対してすばやく応答する動物性機能（感覚系、筋運動系、これらを制御する中枢神経機能系）と、それ以外の生命維持に必須な基本的条件を維持する植物性機能（自律神経系、循環系、呼吸系、消化系、内分泌系等）に大別できる。一過性の身体活動やトレーニング、あるいは低圧、高・低温、水中（無重力）などの特殊環境に曝露されると、安静時の生体内の恒常性は破綻をきたす。しかしながら、これらの生体諸機能は、瞬時のうちに、あるいは長時間にわたって目的的に亢進、抑制されることによって、生体内が状況に対してバランス良く応答・適応する。本講義では、運動・トレーニング、特殊環境曝露に対する生理学的諸機能の制御とそのメカニズム、エネルギー代謝特性、および生体の恒常性維持、身体動作制御に関連した脳・神経系の機能について概説する。これによって、体育学研究科の学生として、スポーツ生理学の中でも、動物性機能、植物性機能、各々の領域における最低限の知識を習得することが期待できる。【授業に含まれる活動】 ・ ・ ・実施あり、x ・ ・ ・実施なし、 ・ ・ ・授業の進捗状況等、場合によっては実施あり</p> <p>グループワーク（ ）、ディスカッション・討論（○）、プレゼンテーション・発表（○）、フィールドワーク（ ）</p>				
成績評価の方法	学期末試験の成績（%） 授業への取り組み状況（60%） レポート等の提出状況（40%） を総合的に評価する。				
成績評価の基準	一過性の運動、および継続的なトレーニングに対する動物性機能、植物性機能からみた生体適応について、最低限基礎レベルは理解していること、さらに専門分野においては研究レベルで理解していることを評価の基準とし、授業での発表態度・内容、レポートなどから総合的に評価する。 尚、スポーツ生理学、トレーニング科学など関連学会で発表する、あるいは学術誌へ投稿した論文が受諾掲載された場合は、上記のレベルにあるとみなす。				
テキスト、教材 参考書	新運動生理学上・下巻（宮村実晴編、真興交易（株）医書出版部、各13000円） 最新運動生理学（宮村実晴編、真興交易（株）医書出版部、各9600円） その他随時紹介				
履修条件・ 関連科目	特にないが、特定のスポーツに関する生理学的応答の授業内容ではなく、より基礎的な生理学の内容であることを留意してください。	備考(教員メッセージ含む)	スポーツ生理学特講演習と合わせて履修することが望ましい		
オフィス・アワー	あらかじめ連絡をしてもらえれば随時対応。 研究棟3階 303研究室 mhoriuchi@nifs-k.ac.jp				
授業計画					
回	担当教員名	授業内容	授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)		
1	堀内 雅弘	オリエンテーション（スポーツ生理学概論）	配付資料をもとに、次週の予習（1時間）		
2	"	運動と呼吸1～換気亢進について～	運動時の換気亢進について資料をまとめる（1時間）		
3	"	運動と呼吸2～酸素摂取動態について～	運動時の酸素摂取動態について資料をまとめる（1時間）		
4	"	運動と呼吸3～二酸化炭素排出動態～	運動時の二酸化炭素排出動態について資料をまとめる		
5	"	運動と循環1～運動時の中心循環・血圧応答～	運動時の中心循環応答について資料をまとめる（1時間）		
6	"	運動と循環2～運動時の末梢循環～	運動時の末梢循環について資料をまとめる（1時間）		
7	"	運動と循環3～運動時の脳循環～	運動時の脳循環について資料をまとめる（1時間）		
8	"	運動トレーニングの効果（4） トレーニング強度の影響	運動トレーニングに対する運動強度の影響（誘発適応の変化）について復習する。		
9	"	運動トレーニングの効果（5） 効果の特異性	運動トレーニング・脱トレーニングに対する効果の持続性について復習すると同時に、運動トレーニングの効果についてレポートをまとめる（3時間）		
10	"	特殊環境下でのスポーツ活動に対する身体応答（1） 暑熱環境	暑熱環境が生理的応答に及ぼす影響について復習する（1時間）		
11	"	特殊環境下でのスポーツ活動に対する身体応答（2） 寒冷環境	寒冷環境が生理的応答に及ぼす影響について復習する（1時間）		
12	"	特殊環境下でのスポーツ活動に対する身体応答（3） 低酸素環境1	低酸素環境が運動時エネルギー供給動態について復習する（1時間）		
13	"	特殊環境下でのスポーツ活動に対する身体応答（4） 低酸素環境2	低酸素環境下での高強度運動トレーニングの効果について復習する（1時間）		
14	"	特殊環境下でのスポーツ活動に対する身体応答（4） 低酸素環境3	低酸素環境下での運動が認知機能等に及ぼす影響について復習する（1時間）		
15	"	運動生理学分野の最新トピック情報と課題	授業全体を通じて学んだことを参考に、自ら実験をデザインしてみる（2時間）		

授業科目名 (ナンバリングコード)	身体科学論特講 (223A2-1303)	授業形態	講義	授業科目区分	基礎科目 (ｽｽﾞｰｼﾞ生命科学)
担当教員名	田巻 弘之・與谷 謙吾			補助担当者名	
単位数	2 単位	履修年次	-	受け入れ人数	-
授業の概要 及び達成目標	本科目では、からだの動きに関する生理や運動刺激による生体応答メカニズムに関する基礎的知識を備えるため、運動器（骨格筋、骨、神経）や関節を中心に、運動（機械的）刺激や不動による生体反応の原理を学ぶ。なぜ、どのように、からだが強くなり、または萎縮し、痛くなるのかなど、科学的根拠を得る。本授業では、典型的な病理写真や表、グラフをみながら、読み取れる情報や傾向について学生間で意見するアクティブなプロセスを通して、組織細胞の微細構造の変化がその機能変化に重大な影響を及ぼすことを理解することができる。				
成績評価の方法	学期末試験の成績（％） 授業への取り組み状況（70％） プレゼンテーション/レポート等の発表状況（30％）を総合的に評価する。				
成績評価の基準	担当する発表の内容、質疑応答状況、課題等の提出により点数を加算して総合評価する。				
テキスト、教材 参考書	（参考書）1）神経科学, 加藤宏司監訳, 西村書店, ISBN:978-4890133567, 2）関節可動域制限 病態の理解と治療の考え方, 沖田実編集, 三輪書店, 2013, ISBN:978-4895904353, 3）Skeletal muscle damage and repair, Tiidus, PM編集, Human Kinetics, (2008), ISBN:978-0736058674, 4）「筋の科学事典 構造・機能・運動」(福永哲夫 編集, 朝倉書店); 5)「計測法入門 計り方, 計る意味」(内山靖, 小林武, 間瀬敦史 編集, 協同医書出版社), 6)「これから論文を書く若者のために 大改訂増補版」(酒井聡樹 著, 共立出版), 7)「入門 運動神経生理学 市村出版」				
履修条件・ 関連科目		備考(教員メッ セージ含む)			
オフィス・アワー	田巻：随時（事前にメールで連絡を頂ければ有難いです）研究棟3階 305研究室 tamaki@nifs-k.ac.jp 與谷：随時（事前にメールで連絡を頂ければ有難いです）研究棟3階 306研究室 yotani@nifs-k.ac.jp				
授業計画					
回	担当教員名	授業内容		授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)	
1	田巻 弘之	オリエンテーション、PubMed、EndNoteの使い方、骨格筋の構成要素と筋線維の超微細構造		参考書1の第13章を一読する。またPubMed及びEndNoteの使い方について復習する。（2時間）	
2	"	骨格筋の萎縮と運動刺激の効果 - 筋収縮と生理活性物質のはたらき -		参考書2の第2章を一読し、筋収縮やマイオカインに関する文献をPubMed等で調べて精読し、EndNote等にデータベース化する。（2時間）	
3	"	筋損傷と再生、筋肥大、筋痛との関連性 損傷と炎症は悪か？ -		参考書3を一読し、筋損傷と再生、痛みに関する文献をPubMed等で調べて精読し、EndNote等にデータベース化する。（2時間）	
4	"	筋膜（結合組織）の種類と不動及び加齢変化の特徴、筋組織のスティフネス - 筋組織の硬さ/柔らかさを決めるもの -		参考書2の第2章第3節を一読し、筋膜に関する文献をPubMed等で調べて精読し、EndNote等にデータベース化する。（2時間）	
5	"	腱及び靭帯の粘弾性と運動・不動及び加齢変化の特徴 - 伸びやすい/伸びにくいを決めるもの -		参考書2の第2章第4節を一読し、腱・靭帯の特性に関する文献をPubMed等で調べて精読し、EndNote等にデータベース化する。（2時間）	
6	"	骨及び軟骨の微細構造と力学的刺激の重要性、関節の痛み - 使いすぎても壊れるが、使わなくても壊れる -		参考書2の第2章第5節を一読し、関節構成体に関する文献をPubMed等で調べて精読し、EndNote等にデータベース化する。（2時間）	
7	"	骨芽細胞、破骨細胞、骨細胞の働きと不動、加齢の影響 - 骨をつくる/壊すを調節している司令塔は一見働いていない -		骨関連細胞に関する文献をPubMed等で調べて精読し、EndNote等にデータベース化する。（2時間）	
8	"	不動、加齢による関節可動域制限と運動・物理療法の効果 - ストレッチングや電気磁気刺激処方の効き目 -		参考書2の第3章を一読し、筋骨格系に対する運動・物理療法の効果に関する文献をPubMed等で調べて精読し、EndNote等にデータベース化する。（2時間）	
9	與谷 謙吾	随意運動に関わる基本的神経機構：中枢・末梢神経系の可塑性		参考書7の第1章を一読し、神経系に関する文献をPubMed等で調べてEndNote等にデータベース化する。（2時間）	
10	"	運動学習に関する神経生理学		参考書7の第2章を一読し、運動学習に関する高次中枢系の文献をPubMed等で調べてEndNote等にデータベース化する。（2時間）	
11	"	随意運動：熟練スポーツ動作の神経-筋活動		参考書7の第17章を一読し、筋活動を主とする文献をPubMed等で調べてEndNote等にデータベース化する。（2時間）	
12	"	随意運動：熟練スポーツ動作の神経-筋活動		参考書7の第18章を一読し、神経系を主とする文献をPubMed等で調べてEndNote等にデータベース化する。（2時間）	
13	"	敏捷性に関わる神経制御機構：反応時間の短縮と遅延について		参考書7の第20章を一読し、反応時間に関する文献をPubMed等で調べてEndNote等にデータベース化する。（2時間）	
14	"	高次中枢（大脳運動野）の促進・抑制機構と操作法		参考書7の6-7部を一読し、磁気刺激に関する文献をPubMed等で調べてEndNote等にデータベース化する。（2時間）	
15	"	運動イメージ中の運動野の興奮性		参考書7の6-10部を一読し、イメージに関する文献をPubMed等で調べてEndNote等にデータベース化する。（2時間）	

授業科目名 (ナンバリングコード)	スポーツバイオメカニクス特講 (223A2-1304)		授業形態	講義	授業科目区分	基礎科目 (スポーツ生命科学)
担当教員名	和田 智仁・前田 明・宮崎 輝光				補助担当者名	
単位数	2 単位	履修年次	-		受け入れ人数	-
授業の概要 及び達成目標	生物の運動を力学的に解析するバイオメカニクスは、スポーツ指導や臨床現場など、幅広い領域で活用される基礎分野である。本授業では、動作分析の基礎について学ぶ。特に、実際のデータを基に議論を行うことや、座学を通じ、主にkinematicsやkineticsについて理解するとともに、人の身体運動を分析する際の着眼点を学ぶ。なお、履修生のレベルと理解に応じて、適宜進度を変更する。					
成績評価の方法	学期末試験の成績 (0%) 授業への取り組み状況 (10%) レポート等の提出状況 (90%) を総合的に評価する。					
成績評価の基準	レポートによって評価する。議論の質および態度も評価する。					
テキスト、教材 参考書	『スポーツバイオメカニクス20講』阿江通良, 藤井範久, 朝倉書店 (2002) 『バイオメカニクス 人体運動の力学と制御』【著】David A. Winter【訳】長野明紀, 吉岡伸輔, ラウンドフラット (2011)					
履修条件・ 関連科目	スポーツバイオメカニクス特講演習とセットで受講することが望ましい。	備考(教員メッセージ含む)	・授業で用いる数学・力学に関する知識が不足する場合は、授業時間外に各自で補うこと。 ・初回授業時までに各自MathWorksアカウント(スポ情HP参照)を作成しておくこと。			
オフィス・アワー	和田: 随時 前田: 随時 宮崎: 随時					
授業計画						
回	担当教員名	授業内容			授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)	
1	和田 智仁 前田 明 宮崎 輝光	バイオメカニクス分野の研究 イントロダクション			授業内容についての予習・復習 (1時間)	
2	和田 智仁 宮崎 輝光	スポーツバイオメカニクス分野における研究方法			Kinematics・Kinetics的分析について予習・復習すること (1時間)。	
3	"	スポーツバイオメカニクス分野における研究方法			Kinematics・Kinetics的分析について予習・復習すること (1時間)。	
4	"	スポーツバイオメカニクス分野における研究方法			Kinematics・Kinetics的分析について予習・復習すること (1時間)。	
5	"	スポーツバイオメカニクス分野における研究方法			Kinematics・Kinetics的分析について予習・復習すること (1時間)。	
6	"	スポーツバイオメカニクス分野における研究方法			Kinematics・Kinetics的分析について予習・復習すること (1時間)。	
7	"	スポーツ動作測定のための実験方法			三次元動作, 地面反力, 表面筋電図の測定・分析方法を予習・復習すること (1時間)。	
8	"	スポーツ動作測定のための実験方法			三次元動作, 地面反力, 表面筋電図の測定・分析方法を予習・復習すること (1時間)。	
9	"	スポーツ動作測定のための実験方法			三次元動作, 地面反力, 表面筋電図の測定・分析方法を予習・復習すること (1時間)。	
10	"	スポーツ動作測定のための実験方法			三次元動作, 地面反力, 表面筋電図の測定・分析方法を予習・復習すること (1時間)。	
11	"	スポーツ動作に関する研究紹介			対象となるスポーツ動作を国内外の先行研究を調べ, 理解する (1時間)。	
12	"	スポーツ動作に関する研究紹介			対象となるスポーツ動作を国内外の先行研究を調べ, 理解する (1時間)。	
13	"	スポーツ動作に関する研究紹介			対象となるスポーツ動作を国内外の先行研究を調べ, 理解する (1時間)。	
14	"	スポーツ動作に関する研究紹介			対象となるスポーツ動作を国内外の先行研究を調べ, 理解する (1時間)。	
15	和田 智仁 前田 明 宮崎 輝光	バイオメカニクスによるスポーツパフォーマンス研究への貢献			授業内容についての予習・復習 (1時間)	

授業科目名 (ナンバリングコード)	スポーツ栄養学特講 (223A2-1306)		授業形態	講義	授業科目区分	基礎科目 (スポーツ生命科学)
担当教員名	石澤 里枝				補助担当者名	
単位数	2 単位	履修年次	-		受け入れ人数	-
授業の概要 及び達成目標	スポーツ栄養学に関する基礎的知見および最新の文献に基づき講義や議論を行う。					
成績評価の方法	学期末試験の成績(%) 出席状況(%) 授業への取り組み状況(70%) レポート等の提出状況(30%) を総合的に評価する。					
成績評価の基準	授業への取り組み、レポートの内容を重視する。					
テキスト、教材 参考書	資料を適宜、配布する。					
履修条件・ 関連科目	特になし	備考(教員メッ セージ含む)	必要に応じて発表を行う。			
オフィス・アワー						
授業計画						
回	担当教員名	授業内容			授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)	
1	石澤 里枝	アスリートのエネルギー必要量と消費量			アスリートのエネルギー必要量と消費量を復習する。(1時間)	
2	"	糖質と身体活動との関係			糖質と身体活動との関係を復習する。(1時間)	
3	"	栄養と運動時の血圧			栄養と運動時の血圧を復習する。(1時間)	
4	"	脂質と身体活動との関係			脂質と身体活動との関係を復習する。(1時間)	
5	"	スポーツ栄養に関する英語論文の抄読会			スポーツ栄養に関する英語論文の抄読会を復習する。(1時間)	
6	"	アメリカスポーツ医学会によるガイドライン：糖質			アメリカスポーツ医学会によるガイドライン：糖質を復習する。(1時間)	
7	"	タンパク質と身体活動との関係			タンパク質と身体活動との関係を復習する。(1時間)	
8	"	アメリカスポーツ医学会によるガイドライン：タンパク質			アメリカスポーツ医学会によるガイドライン：タンパク質との関係を復習する。(1時間)	
9	"	ミネラルと運動パフォーマンス			ミネラルと運動パフォーマンスを復習する。(1時間)	
10	"	水分補給と運動パフォーマンス			水分補給と運動パフォーマンスを復習する。(1時間)	
11	"	ビタミンと運動パフォーマンス			ビタミンと運動パフォーマンスを復習する。(1時間)	
12	"	腸内細菌と運動パフォーマンス			腸内細菌と運動パフォーマンスを復習する。(1時間)	
13	"	スポーツ栄養に関する英語論文の抄読会			スポーツ栄養に関する英語論文の抄読会を復習する。(1時間)	
14	"	スポーツ栄養に関する英語論文の抄読会			スポーツ栄養に関する英語論文の抄読会を復習する。(1時間)	
15	"	まとめ			まとめを復習する。(1時間)	

授業科目名 (ナンバリングコード)	スポーツ心理学特講【夜間】 (223A1-1307)	授業形態	講義	授業科目区分	基礎科目 (スポーツ生命科学)
担当教員名	森 司朗			補助担当者名	
単位数	2 単位	履修年次	-	受け入れ人数	-
授業の概要 及び達成目標	ジュニア期からの効果的な運動指導の在り方について、心理学的な立場から指導の基礎となる知識と理論を提供することを目的とした科目である。具体的には、「運動学習・指導」と「モチベーション」の2つの主なテーマに関して講義を進めていく。				
成績評価の方法	学期末試験の成績(%) 授業への取り組み状況(40%) レポート等の提出状況(60%) を総合的に評価する。				
成績評価の基準	各テーマでの基本的な知識や考え方の理解ならびに一步踏み込んだ問題意識の深さを基準にして評価する。				
テキスト、教材 参 考 書	「運動指導の心理学ー運動学習とモチベーションからの接近」杉原隆 大修館書店				
履修条件・ 関連科目	特になし	備考(教員メッ セージ含む)			
オフィス・アワー					
授業計画					
回	担当教員名	授業内容	授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)		
1	森 司朗	オリエンテーション			
2	"	運動に対する動機づけ1	授業の予習と復習(1時間)		
3	"	運動に対する動機づけ2	授業の予習と復習(1時間)		
4	"	内発的動機づけ1	授業の予習と復習(1時間)		
5	"	内発的動機づけ2	授業の予習と復習(1時間)		
6	"	内発的動機づけに関するプレゼンテーション	プレゼンテーションの作成(1時間)		
7	"	メンタルトレーニング1	授業の予習と復習(1時間)		
8	"	メンタルトレーニング2	授業の予習と復習(1時間)		
9	"	メンタルトレーニングに関するプレゼンテーション	プレゼンテーションの作成(1時間)		
10	"	運動行動の構造からみた運動学習1	授業の予習と復習(1時間)		
11	"	運動行動の構造からみた運動学習2	授業の予習と復習(1時間)		
12	"	運動行動の構造からみた運動学習3	授業の予習と復習(1時間)		
13	"	運動行動からみた運動学習に関するプレゼンテーション	プレゼンテーションの作成(1時間)		
14	"	運動学習理論の背景	授業の予習と復習(1時間)		
15	"	運動学習理論に関するプレゼンテーション	プレゼンテーションの作成(1時間)		

授業科目名 (ナンバリングコード)	体力科学特講【夜間】 (223A2-1308)		授業形態	講義	授業科目区分	基礎科目 (スポーツ生命科学)
担当教員名	田巻 弘之・與谷 謙吾				補助担当者名	
単位数	2 単位	履修年次	-		受け入れ人数	-
授業の概要 及び達成目標	本科目では、身体活動による生体の応答機序を基盤とした健康増進や体力の維持向上に寄与するため、体力の構成要素、特に行動体力の要素に関する加齢変化の特徴や運動効果の現れ方について学び、ディスカッションする。本授業により、体力の構成要素を類別し、筋力、持久力、敏捷性、調整力などの各要素 について、機能と構造の観点から運動刺激の効果を述べる事ができる。					
成績評価の方法	学期末試験の成績(%) 授業への取り組み状況(70%) レポート等の提出状況(30%) を総合的に評価する。					
成績評価の基準	授業への取り組み状況、課題等を複数教員によって判定する。					
テキスト、教材 参考書	(参考書)1)健康・体力のための運動生理学,石河利寛著,杏林書院,ISBN:978-4764410435、 (資料)適宜配布する					
履修条件・ 関連科目		備考(教員メッセージ含む)				
オフィス・アワー	田巻:随時(事前にメールで連絡を頂ければ有難いです) 研究棟3階 305研究室 tamaki@nifs-k.ac.jp 與谷:随時(事前にメールで連絡を頂ければ有難いです) 研究棟3階 306研究室 yotani@nifs-k.ac.jp					
授業計画						
回	担当教員名	授業内容			授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)	
1	田巻 弘之	オリエンテーション:体力の定義と構成要素			今後の予定を確認し、次回の講義(キーワード)について予習を行う(2時間)	
2	"	全身持久力 : 幼少期から成人までの経年変化			本講義のテーマに関する文献をPubMed等で調べて精読し、次回の講義(キーワード)について情報を集める。(2時間)	
3	"	全身持久力 : 呼吸・循環器系の発達			本講義のテーマに関する文献をPubMed等で調べて精読し、次回の講義(キーワード)について情報を集める。(2時間)	
4	"	全身持久力 : トレーニング強度の影響			本講義のテーマに関する文献をPubMed等で調べて精読し、次回の講義(キーワード)について情報を集める。(2時間)	
5	"	全身持久力 : トレーニング効果と特異性			本講義のテーマに関する文献をPubMed等で調べて精読し、次回の講義(キーワード)について情報を集める。(2時間)	
6	"	筋力: 骨格筋の経年変化			本講義のテーマに関する文献をPubMed等で調べて精読し、次回の講義(キーワード)について情報を集める。(2時間)	
7	"	支持組織: 骨の経年変化			本講義のテーマに関する文献をPubMed等で調べて精読し、次回の講義(キーワード)について情報を集める。(2時間)	
8	"	筋力と骨 : 除神経による骨への影響			本講義のテーマに関する文献をPubMed等で調べて精読し、次回の講義(キーワード)について情報を集める。(2時間)	
9	"	筋力と骨 : 除神経による筋への影響			本講義のテーマに関する文献をPubMed等で調べて精読し、次回の講義(キーワード)について情報を集める。(2時間)	
10	"	筋力と骨 : 電気刺激による影響			本講義のテーマに関する文献をPubMed等で調べて精読し、次回の講義(キーワード)について情報を集める。(2時間)	
11	與谷 謙吾	神経系 : 敏捷性・調節力の経年変化			本講義のテーマに関する文献をPubMed等で調べて精読し、次回の講義(キーワード)について情報を集める。(2時間)	
12	"	神経系 : 反応時間に関する幼少期から成人までの経年変化			本講義のテーマに関する文献をPubMed等で調べて精読し、次回の講義(キーワード)について情報を集める。(2時間)	
13	"	反応時間 : 反応動作に関する神経系、筋系、動作系の時間要素			本講義のテーマに関する文献をPubMed等で調べて精読し、次回の講義(キーワード)について情報を集める。(2時間)	
14	"	反応時間 : 神経系のトレーニング頻度			本講義のテーマに関する文献をPubMed等で調べて精読し、次回の講義(キーワード)について情報を集める。(2時間)	
15	"	反応時間 : 神経系のトレーナビリティー			本講義のテーマに関する文献をPubMed等で調べて精読し、これまでの講義内容をまとめる。(2時間)	

授業科目名 (ナンバリングコード)	スポーツバイオメカニクス特講【夜間】 (223A2-1309)	授業形態	講義	授業科目区分	基礎科目 (スポーツ生命科学)
担当教員名	和田 智仁・前田 明・宮崎 輝光			補助担当者名	
単位数	2 単位	履修年次	-	受け入れ人数	-
授業の概要 及び達成目標	生物の運動を力学的に解析するバイオメカニクスは、スポーツ指導や臨床現場など、幅広い領域で活用される基礎分野である。本授業では、動作分析の基礎について学ぶ。特に、実際のデータを基に議論を行うことや、座学を通じ、主にkinematicsやkineticsについて理解するとともに、人の身体運動を分析する際の着眼点を学ぶ。なお、履修生のレベルと理解に応じて、適宜進度を変更する。				
成績評価の方法	学期末試験の成績 ( 0 % ) 授業への取り組み状況 ( 10 % ) レポート等の提出状況 ( 90 % ) を総合的に評価する。				
成績評価の基準	レポートによって評価する。議論の質および態度も評価する。				
テキスト、教材 参 考 書	教科書 『スポーツバイオメカニクス20講』阿江通良, 藤井範久, 朝倉書店 ( 2002 )  参考書 『バイオメカニクス 人体運動の力学と制御』【著】David A. Winter【訳】長野明紀, 吉岡伸輔, ラウンドフラット ( 2011 )				
履修条件・ 関連科目	スポーツバイオメカニクス特講演習とセットで受講することが望ましい。	備考(教員メッセージ含む)	・履修者が少ない場合は、授業内容を柔軟に変更する。 ・授業で用いる数学・力学に関する知識が不足する場合は、授業時間外に各自で補うこと。 ・初回授業時までに各自MathWorksアカウント(スポ情HP参照)を作成しておくこと。		
オフィス・アワー	和田:事前連絡 前田:事前連絡 宮崎:事前連絡				
授業計画					
回	担当教員名	授業内容	授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)		
1	和田 智仁 前田 明 宮崎 輝光	バイオメカニクス分野の研究 イントロダクション	授業内容についての予習・復習 (1時間)		
2	和田 智仁 宮崎 輝光	スポーツバイオメカニクス分野における研究方法	Kinematics・Kinetics的分析について予習・復習すること (1時間)。		
3	〃	スポーツバイオメカニクス分野における研究方法	Kinematics・Kinetics的分析について予習・復習すること (1時間)。		
4	〃	スポーツバイオメカニクス分野における研究方法	Kinematics・Kinetics的分析について予習・復習すること (1時間)。		
5	〃	スポーツバイオメカニクス分野における研究方法	Kinematics・Kinetics的分析について予習・復習すること (1時間)。		
6	〃	スポーツバイオメカニクス分野における研究方法	Kinematics・Kinetics的分析について予習・復習すること (1時間)。		
7	〃	スポーツ動作測定のための実験方法	三次元動作, 地面反力, 表面筋電図の測定・分析方法を予習・復習すること (1時間)。		
8	〃	スポーツ動作測定のための実験方法	三次元動作, 地面反力, 表面筋電図の測定・分析方法を予習・復習すること (1時間)。		
9	〃	スポーツ動作測定のための実験方法	三次元動作, 地面反力, 表面筋電図の測定・分析方法を予習・復習すること (1時間)。		
10	〃	スポーツ動作測定のための実験方法	三次元動作, 地面反力, 表面筋電図の測定・分析方法を予習・復習すること (1時間)。		
11	〃	スポーツ動作測定のための実験方法	三次元動作, 地面反力, 表面筋電図の測定・分析方法を予習・復習すること (1時間)。		
12	〃	スポーツ動作に関する研究紹介	対象となるスポーツ動作を国内外の先行研究を調べ, 理解する (1時間)。		
13	〃	スポーツ動作に関する研究紹介	対象となるスポーツ動作を国内外の先行研究を調べ, 理解する (1時間)。		
14	〃	スポーツ動作に関する研究紹介	対象となるスポーツ動作を国内外の先行研究を調べ, 理解する (1時間)。		
15	和田 智仁 前田 明 宮崎 輝光	バイオメカニクスによるスポーツパフォーマンス研究への貢献	授業内容についての予習・復習 (1時間)		

授業科目名 (ナンバリングコード)	スポーツ栄養学特講【夜間】 (223A2-1310)		授業形態	講義	授業科目区分	基礎科目 (スポーツ生命科学)
担当教員名	鈴木 志保子				補助担当者名	
単位数	2 単位	履修年次	-		受け入れ人数	-
授業の概要 及び達成目標	栄養学の基礎的な復習を行い、身体活動量と栄養素摂取、食事、食生活の関係について学ぶ。また、食品に関するトピックを取り上げ、学ぶ。					
成績評価の方法	学期末試験の成績(%) 授業への取り組み状況(60%) レポート等の提出状況(40%) を総合的に評価する。					
成績評価の基準	ゼミ方式で授業を行う。授業中の発言等によって取り組みを判断指標化する。また、課題レポートの考察を中心に評価する。					
テキスト、教材 参考書	授業ごとに資料を配布する。					
履修条件・ 関連科目	特になし	備考(教員メッ セージ含む)				
オフィス・アワー						
授業計画						
回	担当教員名	授業内容			授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)	
1	鈴木 志保子	栄養学とは			参考書・資料等の復習及び予習(1時間)	
2	"	現代の食生活に対する問題と課題について			参考書・資料等の復習及び予習(1時間)	
3	"	糖質の役割と身体活動との関係			参考書・資料等の復習及び予習(1時間)	
4	"	糖質の役割と身体活動との関係			参考書・資料等の復習及び予習(1時間)	
5	"	タンパク質の役割と身体活動との関係			参考書・資料等の復習及び予習(1時間)	
6	"	タンパク質の役割と身体活動との関係			参考書・資料等の復習及び予習(1時間)	
7	"	脂質の役割と身体活動との関係			参考書・資料等の復習及び予習(1時間)	
8	"	脂質の役割と身体活動との関係			参考書・資料等の復習及び予習(1時間)	
9	"	ビタミンの役割と身体活動との関係			参考書・資料等の復習及び予習(1時間)	
10	"	ビタミンの役割と身体活動との関係			参考書・資料等の復習及び予習(1時間)	
11	"	ミネラルの役割と身体活動との関係			参考書・資料等の復習及び予習(1時間)	
12	"	ミネラルの役割と身体活動との関係			参考書・資料等の復習及び予習(1時間)	
13	"	食事・食生活の考え方			参考書・資料等の復習及び予習(1時間)	
14	"	保健指導について			参考書・資料等の復習及び予習(1時間)	
15	"	機能的食品・食材について			レポート作成(1時間)	
16	"	まとめ				

授業科目名 (ナンバリングコード)	身体教育特講 【KR】 (223A2-1311)		授業形態	講義	授業科目区分	基礎科目 (スポーツ生命科学)
担当教員名	森 司朗・井福 裕俊・坂本 将基・金高 宏文・中村 夏実・中本 浩揮・藤田 英二・高井 洋平・梶 ちか子・廣津 匡隆・塩瀬 圭佑・石澤 里枝・石走 知子・未 定				補助担当者名	
単位数	2 単位	履修年次	1年次		受け入れ人数	5名
授業の概要 及び達成目標	<p>身体の特性（身体性）について理解を深めるとともに、身体を教育するための様々な手段について、心・技・体の観点から学び、生涯にわたって身体を育てていくための基礎的な能力を身につける。</p> <p>【授業に含まれる活動】 ・・実施あり、x・・・実施なし、・・・授業の進捗状況等、場合によっては実施あり グループワーク（ ）、ディスカッション・討論（ ）、プレゼンテーション・発表（ ）、フィールドワーク（ x ）</p>					
成績評価の方法	学期末試験の成績（ % ） 授業への取り組み状況（ 40% ） レポート等の提出状況（ 60% ） を総合的に評価する。					
成績評価の基準	上記の条件で総合的に評価する。授業への取り組み状況の評価は、自分の考えを適切に表現できるかを重視する。					
テキスト、教材 参 考 書	テキストは使用しない。資料を適宜、配布する。					
履修条件・ 関連科目	連携教育プログラム履修生は、同時開講予定の「身体教育特講演習 【KR】」を履修すること。	備考(教員メッセージ含む)	本講義は、連携教育プログラム履修生の必修科目。原則として夏期休業中の約1週間程度とし、開講時期については、連携プログラム履修生の都合を優先する。なお、講義の順序が変更になる場合もある。			
オフィス・アワー	集中講義の期間中に各教員が対応する。					
授業計画						
回	担当教員名	授業内容			授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)	
1	森 司朗	身体の特性（身体性）について			身体の特性（身体性）についての復習（30分以上）	
2	梶 ちか子	身体教育の手段について			身体教育の手段についての復習（30分以上）	
3	森 司朗	動機づけ等について			動機づけ等についての復習（30分以上）	
4	中本 浩揮	心のトレーニングについて			心のトレーニングについての復習（30分以上）	
5	坂本 将基	身体意識の変容と運動技能について			身体意識の変容と運動技能についての復習（30分以上）	
6	金高 宏文	運動指導とコツ・カンについて			運動指導とコツ・カンについての復習（30分以上）	
7	井福 裕俊	体力について			体力についての復習（30分以上）	
8	高井 洋平	アスリートの体力トレーニングについて			体力トレーニングについての復習（30分以上）	
9	藤田 英二	健康づくりのための運動処方について			運動処方についての復習（30分以上）	
10	塩瀬 圭佑	健康と生活習慣について			健康と生活習慣についての復習（30分以上）	
11	石澤 里枝	栄養について			栄養についての復習（30分以上）	
12	中村 夏実	自然環境での身体活動について（海洋スポーツ）			自然環境での身体活動について（海洋スポーツ）の復習（30分以上）	
13	未 定	休養について			休養についての復習（30分以上）	
14	廣津 匡隆	コンディショニングと障害予防について			コンディショニングと障害予防についての復習（30分以上）	
15	森 司朗	まとめ			課題レポートの作成（3時間）	

授業科目名 (ナンバリングコード)	身体教育特講 A【KR】 (223A2-1312)		授業形態	講義	授業科目区分	基礎科目 (スポーツ生命科学)
担当教員名	井福 裕俊・坂本 将基				補助担当者名	
単位数	2 単位	履修年次	-		受け入れ人数	-
授業の概要 及び達成目標	スポーツや運動を身体教育として捉え、かつそれらの分野に関する研究の視点を得るためには、スポーツや運動に対する学際的な理解が重要となる。本授業では、随意運動制御、運動時の循環調節などについて概説し、幅広く理解できるようになる。					
成績評価の方法	学期末試験の成績(%) 出席状況(%) 授業への取り組み状況(40%) レポート等の提出状況(60%) を総合的に評価する。					
成績評価の基準	レポート課題の成績と授業への取り組みから総合的に判断する。					
テキスト、教材 参考書	参考資料等は事前に配布する。					
履修条件・ 関連科目	特になし	備考(教員メッ セージ含む)				
オフィス・アワー	担当教員ごとに要予約(相談)					
授業計画						
回	担当教員名	授業内容			授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)	
1	井福 裕俊 坂本 将基	オリエンテーション				
2	坂本 将基	随意運動制御の概説(1) 脊髄			授業内容をまとめて後日提出する(30分)	
3	"	随意運動制御の概説(2) 小脳			授業内容をまとめて後日提出する(30分)	
4	"	随意運動制御の概説(3) 大脳基底核			授業内容をまとめて後日提出する(30分)	
5	"	随意運動制御の概説(4) 骨格筋			授業内容をまとめて後日提出する(30分)	
6	"	随意運動制御の概説(5) 大脳皮質1			授業内容をまとめて後日提出する(30分)	
7	"	随意運動制御の概説(6) 大脳皮質2			授業内容をまとめて後日提出する(30分)	
8	"	随意運動制御の概説(7) 運動学習			授業内容をまとめて後日提出する(30分)	
9	井福 裕俊	運動時の循環調節の概説(1) 心臓			授業内容をまとめて後日提出する(30分)	
10	"	運動時の循環調節の概説(2) 血圧			授業内容をまとめて後日提出する(30分)	
11	"	運動時の循環調節の概説(3) 微小循環			授業内容をまとめて後日提出する(30分)	
12	"	運動時の循環調節の概説(4) 圧受容器反射			授業内容をまとめて後日提出する(30分)	
13	"	運動時の循環調節の概説(5) セントラルコマンド			授業内容をまとめて後日提出する(30分)	
14	"	運動時の循環調節の概説(6) 運動昇圧反射			授業内容をまとめて後日提出する(30分)	
15	井福 裕俊 坂本 将基	総合討論				



























































































